消　防　組　合

５０年のあゆみ

留 萌 消 防 組 合

組合設立５０周年にあたり

留 萌 消 防 組 合 管 理 者

留萌市長　**中　西　俊　司**

昭和４９年４月１日留萌市と小平町を構成団体として留萌消防組合が設立され、ここに５０周年を迎えることができましたことを住民の皆様とともに心からお慶び申し上げますとともに、当消防組合の設立と消防行政の推進にご協力を賜りました関係各位に厚くお礼申し上げます。

組合設立以来、消防職員並びに消防団員各位におかれましては、火災の予防、消火をはじめ、風水害や救急活動など、あらゆる災害に対処され、住民の生命、身体、財産の保護に懸命の努力を続けてこられましたご労苦に対しまして心から敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

現在の消防行政を取り巻く環境は、増加の一途をたどる救急需要や地球規模での気候変動によってもたらされる自然災害、発生周期に入っていると言われる大規模地震への備えなど多種多様な事象に対する対応力の強化が求められています。

また、災害に強い我がマチを築いていくためには、消防団員の確保も重要な課題であると認識いたしております。

各位におかれましては、５０周年を契機として消防本部、消防関係団体の更なる発展を期し、住民の安全・安心に対する信頼に応えるべく、より一層ご精進を賜りますことをお願いし、挨拶といたします。

組合設立５０周年を迎えて

留 萌 消 防 組 合 副 管 理 者

小平町長　**関　　次　雄**

昭和４９年４月１日留萌市との間に留萌消防組合が設立され、５０年という長い歴史を刻んでまいりました。この間、関係各位の献身的なご努力により組織、設備、装備など各般にわたり着実に発展、充実を遂げ地域住民の信頼に応えてこられたことは大変喜ばしいかぎりであります。

近年は火災こそ減少傾向にあるものの、救急需要は全国的に増加を続けているとともに気候変動によるとみられる大規模な自然災害も多発しており、住民の安全に対する関心は一層高まっているのが現状でございます。

一方、消防行政を取り巻く環境は、人口減少に伴う消防力の低下や定年延長に伴う職員の高齢化、消防デジタルトランスフォーメーションの推進などこれまでとは異なる対応の強化が求められており、消防に期待される役割は益々増大し、消防職員並びに消防団員に対する地域住民の期待も大きくなっているところであります。

大規模な自然災害など、何時いかなる災害や事故が地域に発生するかは予測不可能な場合もあり、正に地域住民にとっては、消防職団員の即応力が必要とされております。

このような情勢を踏まえ、記念すべき５０周年を契機として組合消防に課せられた使命の重大さを再認識され、安全な地域社会の確立に向けて励まれますよう念頭するものであります。

結びに、関係各位のさらなるご支援とご指導をお願い申し上げましてご挨拶と致します。

組合設立５０周年を祝して

留 萌 消 防 組 合 議 会

議 長　米 倉 靖 夫

留萌市と小平町が、一つの消防を組織し留萌消防組合として５０年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

長年に亘り、地域住民の信頼に応え、日々献身的なご活躍をなされ、ひたすらに住民の尊い生命・財産を災害から守り、消防行政の推進に大きく貢献されていることに、敬意を表します。

近年における社会情勢はめまぐるしい変貌を遂げ、自治体ＤＸという行政システムへの転換が進められております。この中において特に消防組織は住民生活に密着し、厚い信頼を得ながら着実に発展を続けられ、地域社会の安定向上になくてはならない存在となっていることは、誠にご同慶の限りでございます。

一方少子高齢化、過疎化の進展により生活様式も多様化し、消防を取り巻く環境も大きく変化し従来の消火、防火活動に限らず、災害の予防、救急救助体制の充実整備など多岐にわたり、消防活動に対する住民の期待は益々高まり、その責務はより一層重要なものとなってまいります。

この意義のある年を契機とし、消防職団員の皆様には消防の使命達成のため、日頃より一層のご尽力とご精進を賜りますようお願い申し上げます。

留萌消防組合の限りないご発展と地域の安泰、更には皆様のご健勝を祈念申しあげお祝いの言葉といたします。

５０周年記念誌発刊にあたって

留 萌 消 防 組 合

消防長　**菊　池　智　人**

このたび留萌消防組合が昭和４９年４月に発足してから記念すべき５０周年を迎えられたことに心から慶ぶとともに、先人たち諸先輩方、関係各位のご尽力に敬意を表し感謝を申し上げます。

「昭和」「平成」から「令和」へと移りゆくこの５０年の歴史には、環境の変化とともに消防体制は大きく変革し消防力は飛躍的な向上を遂げてきました。平成３年の救急救命士法の施行による救急救命士の配置や予防技術資格者等、各種技術資格者の養成や平成２８年消防庁舎の改築を機に女性消防職員を採用するなど計画的な各種教育、研修、訓練を実施し火災、救急、救助等の警戒体制、予防体制の強化を図ってまいりました。

このように発展してきた現在の組合体制については住民の生命、身体、財産を守るため、幾多の災害を乗り越え克服してきた先人たちが、関係者の深いご理解ご支援のもとに築かれたものと改めて敬意を表する次第であります。

近年では多種多様で予測不能な自然災害が全国各地で頻発していることに加え、高齢化や各種感染症などで救急需要も多くなっていることから今後の消防行政に対するニーズはますます大きくなってまいります。今後とも我々は長い歴史の中で培われた教訓を基に消防力を最大限に発揮し「安全で安心して暮らせるまちづくり」の実現に向け、全職員がより一層の結束を固め、消防団とより強固な連携を図り、崇高なる職務に精励してまいる所存であります。

結びに、組合発足５０周年を記念し、これまでの歴史を改めて振り返り令和という新時代において、当組合のさらなる発展を祈念して記念誌を発刊させていただきました。今後ともより一層のご理解とご支援、ご鞭撻をお願い申し上げ、発刊にあたっての挨拶とさせていただきます。

目　　次

組合設立５０周年にあたり　・・・・・・・・・留萌消防組合管理者（留萌市長）　中　西　俊　司
組合設立５０周年を迎えて　・・・・・・・・留萌消防組合副管理者（小平町長）　関　　次　雄
組合消防５０周年を祝して　・・・・留萌消防組合議会議長（留萌市議会議員）　米　倉　靖　夫
新たな誓い　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・留萌消防組合消防長　菊　池　智　人

目　　次

沿　　革　・・・　１

組　　織　・・　１２
◆ 留萌消防組合管轄区域
◆ 留萌消防組合機構
◆ 管理者・副管理者
◆ 留萌消防組合議会議員
◆ 監査委員・公平委員会委員・消防審議会委員・情報公開・個人情報保護審査会委員
◆ 消防本部・留萌消防署・小平消防署
◆ 留萌消防団・小平消防団

施設・車両　・・・　４３
◆ 消防庁舎・分団詰所
◆ 消防車両

外郭団体　・・　４７
◆ 留萌市消防後援会
◆ 留萌危険物安全協会
◆ 留萌地区防火管理者連絡協議会
◆ 留萌地区少年婦人防火委員会

表　　彰　・・　４９
◆ 顕彰・褒章・叙勲・長官表彰
◆ 表彰旗・竿頭綬等
◆ 少年消防優良クラブ等表彰

統　　計　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５８
◆ 火災・ 救急統計

年　　譜　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６６
◆ 消防の沿革（明治１５年～昭和４８年）

消 防 組 合 の 沿 革

沿　　革

１９７４年（昭和４９年）

４月　昭和４９年４月１日　留萌消防組合設立（留振興第２６号指令）構成市町～留萌市・小平町

管理者（留萌市長）　原　田　栄　一　　副管理者（小平町長）　五十嵐　庄　治

（留萌市助役）　鷹　橋　三　郎　　収入役（留萌市収入役）　折　橋　直　作

組合議会構成議員１０名（留萌市７名・小平町３名）

消　防　長	北　村　　茂	次　　長	金　澤　勝　男
消防署長	河　田　静　三	小平支署長	高　松　憲　雄
鬼鹿支署長	玉　井　　貢	留萌消防団長	道　　重　雄
小平消防団長	中　原　　厚	鬼鹿消防団長	神　田　徳次郎

１本部、１署、２支署、１分遣所、２出張所、３消防団、の体制で発足し、組合審議会委員１０名、公平委員会委員３名、監査委員２名が選任委嘱

消防職員定数を７１名

９月　留萌ライオンズクラブより、指令広報車（トヨペットクラウンカスタムワゴン）の寄贈を受け、消防本部に配置

１０月　鬼鹿支署に指令広報車を配置

１２月　小平支署、鬼鹿支署、達布分遣所に消防専用超短波無線基地局を開局

１９７５年（昭和５０年）

６月　留萌消防組合収入役（留萌市収入役）石　黒　邦　雄　就任

９月　留萌消防署に屈折梯子付消防ポンプ自動車（１６m級）を配置、「萌竜号」と命名

１０月　鬼鹿支署長　中　島　　一　就任

１１月　消防本部に連絡車（ジープ型）を配置、「ちどり号」と命名

１２月　留萌消防署に水槽付消防ポンプ自動車を配置、「銀嶺号」と命名

留萌消防署に消防ポンプ自動車を配置、「新星号」と命名

１９７６年（昭和５１年）

７月　高砂町に消防救助訓練塔を建設（１６ｍ１基・８ｍ２基）

１０月　留萌消防団峠下分団機械器具置場を建設

１１月　留萌消防署にタイヤショベルを配置

１２月　留萌消防署に救助工作車を配置

日本損害保険協会より、３Ｂ型救急自動車の寄贈を受け留萌消防署に配置、「しらゆり号」と命名

小平支署に日赤救急車を配置

１９７７年（昭和５２年）

５月　開運町出張所を廃止し、高砂町出張所を開設

９月　消防本部次長　金　澤　　勲、　消防署長　木　村　久　男　就任
１０月　鬼鹿支署長　徳　光　鶴　次　就任

１９７８年（昭和５３年）
４月　留萌市に町内会防火相談員制度発足（７７町内会・１３９名）
５月　留萌市港町２丁目旧留萌海運局を改築、留萌消防団第１分団詰所を開設
６月　留萌少年消防クラブを結成（クラブ員１２０名・指導者２８名）
消防職員定数を７２名
９月　留萌みなとライオンズクラブより、乗用車の寄贈を受け消防本部に配置、「指令車」と命名

１９７９年（昭和５４年）
１月　日本自動車工業会より、２Ｂ型救急自動車の寄贈を受け小平支署に配置、「はまなす号」と命名
鬼鹿支署に日赤救急車を配置
６月　副管理者（留萌市助役）石　黒　邦　雄、　収入役（留萌市収入役）尾　池　里　実　就任
７月　鬼鹿少年消防クラブを結成（クラブ員２３名・指導員６名）
９月　日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け留萌消防署に配置、「飛竜号」と命名
小平少年消防クラブ（本郷班）を結成（クラブ員２４名・指導者６名）
留萌ライオンズクラブ設立２０周年記念事業として、マイクロバスの寄贈を受け留萌消防署に配置、「防災指導車」と命名
１０月　鬼鹿婦人防火クラブを結成（クラブ員１４名）
１２月　小平少年消防クラブ（小平班）を結成（クラブ員２３名・指導者７名）

１９８０年（昭和５５年）
３月　小平婦人防火クラブを結成（クラブ員１７名）。
日本損害保険協会より、３Ｂ型救急自動車の寄贈を受け留萌消防署に配置、「すずらん号」と命名
５月　消防本部・消防署庁舎を高砂町に移転
７月　鬼鹿支署に指令車を配置
１１月　鬼鹿消防団千松器具置場を建設
１２月　小平支署庁舎を新築（小平消防団本部・小平分団併設）

１９８１年（昭和５６年）
４月　鬼鹿支署長　高　橋　貞　義　就任
小平支署に指令車を配置
９月　鬼鹿消防団豊浜器具置場を建設
１０月　消防職員定数を７３名
１２月　第４代小平消防団長　中　嶋　秀　男　就任
小平消防団本郷分団器具置場を建設

鬼鹿支署に２Ｂ型救急自動車を配置、「ふじ号」と命名
小平支署に小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型を配置

１９８２年（昭和５７年）
２月　消防職員定数を７４名
４月　防火基準適合表示制度（適マーク）を実施
５月　第５代消防長　消防本部次長　金　澤　　勲　就任
６月　消防本部次長　木　村　久　男、　消防署長　加　藤　幸　一　就任
８月　北海道消防操法訓練大会で留萌消防団が竿頭綬を授与
９月　消防職員定数を７３名
１０月　留萌消防団　創設１００周年記念行事を実施
鬼鹿支署庁舎を新築（鬼鹿消防団本部併設）
小平消防団住吉分団器具置場を建設
小平消防団臼谷分団器具置場を建設
１１月　副管理者（小平町長）尾　作　昭　義　就任
鬼鹿消防団　創設１００周年記念行事を実施
留萌消防署に化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を配置、「翔竜号」と命名
鬼鹿支署に消防救急指令装置を設置
小平支署に消防ポンプ自動車Ⅱ型を配置、「小平２号車」と命名

１９８３年（昭和５８年）
１月　留萌消防署に資機材搬送車を配置
４月　鬼鹿支署長　橋　村　輝　雄　就任
留萌市の消火栓を全て地上式消火栓に交換
６月　副管理者（留萌市助役）五十嵐　悦　郎　就任
９月　日本消防協会より軽可搬動力消防ポンプの寄贈を受け、鬼鹿婦人防火クラブに配置
１０月　鬼鹿支署に小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型を配置、「鬼鹿１号車」と命名
１２月　留萌消防署に消防救助訓練塔を建設（亜鉛引パイプ製・１６ｍ１基・８ｍ１基）

１９８４年（昭和５９年）
４月　消防署長　小　松　克　己　就任
７月　留萌消防組合設立１０周年記念式典を挙行
副管理者（留萌市助役）梅　澤　文　敏、　収入役（留萌市収入役）佐　藤　年　光　就任
１０月　留萌消防署に指令広報車を配置（伊藤キミエ氏より１００万円の寄付）
小平消防団と鬼鹿消防団が統合、「小平消防団」に改組
初代小平消防団長　神　田　徳次郎　就任
小平支署達布分遣所庁舎を新築
１２月　留萌消防署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を配置、「萌星号」と命名

１９８５年（昭和６０年）

４月　消防本部次長　松　下　　功、　鬼鹿支署長　林　　正　路　就任
消防職員定数を７０名
１１月　小平支署達布分遣所に水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を配置、「達布３号車」と命名

１９８６年（昭和６１年）
３月　留萌消防組合管理者（留萌市長）五十嵐　悦　郎　就任
９月　留萌消防署に司令車を配置、「司令２号車」と命名（森本正義氏より１００万円の寄付）
小平消防団本郷分団熾沖内班器具置場を建設
１１月　副管理者（小平町長）新　名　秀　雄　就任

１９８７年（昭和６２年）
３月　日本自動車工業より、救急自動車の寄贈を受け留萌消防署に配置、「しらゆり号」と命名
４月　第６代消防長　本部次長　松　下　　功　就任
消防本部次長　小　松　克　己、　消防署長　西　谷　幸　吉　就任
１１月　小平支署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を配置、「小平１号車」と命名
１２月　留萌消防団三泊コミュニティー消防センターを建設

１９８８年（昭和６３年）
４月　鬼鹿支署長　橋　村　輝　雄　就任
小平消防団条例定数を１８０名
６月　鬼鹿支署に指令車を配置
１０月　第４代留萌消防団長　道　　重　雄　氏　逝去
留萌消防署に化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を配置、「化学４号」と命名
１１月　建設大臣より水害対策に功績があったとして、留萌消防団に水防功労表彰が授与
１２月　第５代留萌消防団長　野　原　忠　治　就任
留萌消防署に気象観測装置を配置（森本正義氏より１００万円の寄付）

１９８９年（平成元年）
９月　日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け留萌消防団第２分団に配置、「留萌号」と命名
１０月　幌糠地区に消防用地を購入（５１９．７６㎡）
１２月　留萌消防署に司令車を配置
留萌消防団第２分団詰所を建設（留萌消防会館）
留萌消防団南町コミュニティー消防センターを建設

１９９０年（平成２年）
１０月　留萌消防団第１分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－１型を配置、「注水１１号」と命名
留萌消防団藤山コミュニティー消防センターを建設
１２月　留萌消防署に救助工作車Ⅱ型を配置

消防本部に連絡車を配置（川上康博氏より１００万円の寄付）

１９９１年（平成３年）

１月　安田生命保険㈱より、２Ｂ型救急自動車の寄贈を受け留萌消防署に配置、「すずらん号」と命名

１１月　留萌消防署に３０ｍ級梯子付消防自動車を配置

１９９２年（平成４年）

２月　鬼鹿支署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を配置、「鬼鹿２号車」と命名

４月　第２代小平消防団長　菅　野　幸　雄　就任

７月　副管理者（留萌市助役）西　野　正　和、　収入役（留萌市収入役）小野寺　祐　治　就任

１０月　留萌消防団浜中分団が礼受分団に統合

留萌消防団、小平消防団に消防団活性化総合整備事業により、視聴覚教育資機材を配置

小平支署に指令広報車を配置

１９９３年（平成５年）

１月　留萌消防署に司令車を配置、「司令３号車」と命名

４月　留萌消防団条例定数を１９０名

９月　留萌消防署、小平支署に救急高度化医療資機材を配置

小平消防団に消防団活性化総合整備事業により、消防団緊急伝達システム、視聴覚機材、防災資機材、防災資機材搬送車を配置

１０月　留萌消防団港北コミュニティー消防センターを建設

留萌消防団に消防団活性化総合整備事業により、消防ホース洗浄・乾燥システム、消防団員安全装備品を配置

小平支署に２Ｂ型救急自動車を配置、「はまなす号」と命名

１２月　留萌消防署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を配置、「水－９号」と命名

１９９４年（平成６年）

３月　留萌消防組合管理者（留萌市長）長　沼　憲　彦　就任

４月　㈱岩田商事より、「防災指導車」の寄贈を受け留萌消防署に配置

９月　留萌市消防後援会設立２０周年記念事業として、「マイクロバス」の寄贈を受け留萌消防署に配置

１０月　留萌消防組合設立２０周年記念式典を挙行

１１月　留萌消防団港町コミュニティー消防センターを建設

１９９５年（平成７年）

４月　第７代消防長　留萌市民生部長　大　川　寿　幸　就任

消防本部次長　西　谷　幸　吉、　消防署長　大　塚　武　弥、　小平支署長　林　　正　路　就任

５月　留萌消防署職員が救急救命士免許を取得
１１月　留萌消防署に高規格救急自動車を配置、運用開始
　　小平消防団寧楽コミュニティー消防センターを建設

１９９６年（平成８年）
３月　留萌消防団南町分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－１型を配置、「注水１２号」と命名
４月　留萌消防署に消防緊急通信指令施設Ｉ型を導入、運用開始
７月　副管理者（留萌市助役）高　橋　　守、　収入役（留萌市収入役）橋　本　典　明　　就任
９月　留萌消防署に高度救助用資機材を配置
１２月　留萌消防署にタイヤショベルを配置

１９９７年（平成９年）
３月　小平支署に消防緊急通信指令装置を導入、運用開始
４月　第６代留萌消防団長　渋　谷　和　夫　就任
　　消防職員定数を７１名
５月　小平支署に消防公用車を配置
６月　日本国有鉄道清算事業団から幌糠地区防災活動拠点用地を購入（１，９０４㎡）
９月　留萌消防署に高圧ガス設備（３０㎫充填）を設置

１９９８年（平成１０年）
４月　第８代消防長　消防本部次長　西　谷　幸　吉　就任
１１月　副管理者（小平町長）横　濱　　磨　就任
　　小平支署が第１回全国消防広報コンクール「広報カレンダー部門」で最優秀賞を受賞

１９９９年（平成１１年）
４月　第７代留萌消防団長　岩　谷　冨　雄　就任
　　第３代小平消防団長　佐　藤　善　美　就任
　　小平消防団条例定数を１４５名
９月　日本損害保険協会より、消防ポンプ自動車ＣＤ－１型の寄贈を受け留萌消防団港北分団に配置、「注水１３号」と命名
１２月　留萌消防団沖見コミュニティー消防センターを建設

２０００年（平成１２年）
４月　第９代消防長　大　塚　武　弥　就任
　　消防署長　佐　藤　　守、　鬼鹿支署長　乗　田　勝　之　就任
　　留萌消防団条例定数を１５０名
　　小平消防団を７分団から３分団へ改組（小平分団・鬼鹿分団・達布分団）
７月　収入役（留萌市収入役）山　本　憲　二　就任
８月　鬼鹿支署に指令広報車を配置

９月　留萌消防署に化学耐熱服を配置
１０月　留萌消防団に女性消防団員を７名採用、団本部に配置

２００１年（平成１３年）
４月　小平消防団条例定数を１１５名
留萌消防団港北分団と三泊分団が統合、「港北分団」と改名
留萌消防団幌糠分団と峠下分団及び藤山分団が統合、「幌糠分団」と改名
１０月　留萌消防団沖見分団と礼受分団が統合、「港西分団」と改名
１１月　小平支署職員が救急救命士免許を取得

２００２年（平成１４年）
７月　副管理者（留萌市助役）山　本　憲　二、　収入役（留萌市収入役）吉　田　俊　昭　就任
１１月　第１０代消防長　留萌市保健福祉部長　中　村　吉　信　就任
留萌消防団南町分団と大和田分団が統合、「港東分団」と改名
小平支署に高規格救急自動車を配置、運用開始

２００３年（平成１５年）
３月　小平支署達布分遣所を廃止
４月　消防職員定数を６９名
５月　３０ｍ級梯子付消防自動車の重整備を実施
１１月　消防本部次長　中　黒　康　二、　消防署長　佐　藤　昌　史　就任

２００４年（平成１６年）
４月　第４代小平消防団長　新　名　清　二　就任
小平支署長　乗　田　勝　之、　鬼鹿支署長　三　好　義　春　就任
留萌消防団条例定数を１３０名
小平消防団条例定数を１０５名
６月　みなとライオンズクラブより、公用車（マツダＭＰＶ）の寄贈を受け留萌消防署に配置、「司令２号」と命名
９月　日本損害保険協会より、脊椎固定器具３基の寄贈を受け留萌消防署及び小平支署へ配置
１０月　留萌市消防後援会設立３０周年記念事業として、自動体外式除細動器の寄贈を受け留萌消防署に配置
１２月　留萌消防組合設立３０周年記念誌を発行

２００５年（平成１７年）
４月　小平支署長　長　山　良　明、　鬼鹿支署長　小　関　道　博　就任
消防職員定数を６８名
１１月　小平支署庁舎改修工事を実施

２００６年（平成１８年）

３月　管理者（留萌市長）高　橋　定　敏　就任

４月　第１１代消防長　消防本部総務課長　三　国　久　介　就任

第５代小平消防団長　五十嵐　正　孝　就任

７月　副管理者（留萌市副市長）竹　中　　貢　就任（収入役廃止）

８月　留萌消防署の消防救助訓練塔建替工事を実施

１２月　第８代留萌消防団長　飛　島　弦　二　就任

２００７年（平成１９年）

３月　留萌消防組合規約議員定数を８名（留萌市選出議員５名・小平町選出議員３名）

４月　鬼鹿支署長　越後谷　正　己　就任

１２月　鬼鹿支署に小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型を配置、「鬼鹿１号車」と命名

２００８年（平成２０年）

１０月　小平支署に指令広報車を配置

２００９年（平成２１年）

４月　第１２代消防長　留萌市産業建設部参与　小　原　寿　政　就任

消防署長　松　澤　一　雄、　小平支署長　和　田　　孝　就任

６月　留萌市において第６１回北海道消防大会を挙行

２０１０年（平成２２年）

１月　留萌消防署に高規格救急自動車を配置

２月　第９代留萌消防団長　田　中　　基　就任

４月　第６代小平消防団長　土　佐　誠　一　就任

５月　鬼鹿支署庁舎改修工事を実施

７月　副管理者（留萌市副市長）中　西　俊　司　就任

１１月　副管理者（小平町長）関　　次　雄　就任

２０１１年（平成２３年）

１月　小平消防団達布分団に小型動力付積載車を配置

３月　留萌消防組合緊急消防援助隊を北海道第５次部隊として、東日本大震災被災地（宮城県石巻市）へ派遣

４月　小平支署長兼鬼鹿支署長　関　川　直　昭　就任

留萌消防組合緊急消防援助隊を北海道第１１次部隊として、東日本大震災被災地（宮城県石巻市）へ派遣

１１月　北海道消防操法訓練大会（江別市）小型ポンプ操法訓練において、小平消防団が優勝

２０１２年（平成２４年）

２月　留萌消防署に化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を配置、「化学５号」と命名

３月　小平支署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を配置、「小平１号車」と命名

４月　第１３代消防長　消防本部総務課長　佐　藤　昌　史　就任

第７代小平消防団長　酒　谷　　貢　就任

留萌消防団長　田　中　　基　公益財団法人　北海道消防協会評議員　就任

１１月　消防救急デジタル無線整備基本設計業務実施（留萌・小平）

２０１３年（平成２５年）

２月　留萌消防署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を配置、「水－１０号」と命名

４月　消防署長　畑　田　　等　就任

１０月　留萌消防署に高規格救急自動車を配置

２０１４年（平成２６年）

３月　消防救急デジタル無線整備実施設計業務実施（留萌・小平）

４月　第１４代消防長　消防本部総務課長　中　路　和　也　就任

留萌消防署・小平消防署の２署体制

消防職員定数を６９名

１０月　留萌市消防後援会設立４０周年記念事業として、公用車（三菱ｅｋワゴン）の寄贈を受け留萌消防署に配置、「連絡車」と命名

１１月　消防防災科学技術賞（消防防災機器等の開発・改良）優秀賞受賞（小平消防署）

１２月　留萌消防組合設立４０周年記念誌発刊

２０１５年（平成２７年）

３月　消防救急デジタル無線機器整備実施（留萌・小平）

消防緊急通信指令台実施設計業務実施（留萌）

４月　小平消防署長　道　添　　透　就任

留萌消防署に庁舎建設準備室設置

１０月　留萌消防組合留萌消防署新庁舎建設（RC 造２階建て 延床面積 1,778.53 ㎡）

消防救急デジタル無線機器 新庁舎へ移設工事

消防緊急通信指令台（日立製）導入

高圧ガス製造施設更新（MARINER Ⅱ M200E）

１１月　留萌消防署新庁舎運用開始（11 月 17 日移転）

２０１６年（平成２８年）

１月　旧留萌消防組合留萌消防庁舎解体工事実施

２月　小平消防署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型 を配置、「小平１号車」と命名

小平消防署に電動油圧救助資機材一式を配置

３月　留萌消防署 庁舎建設準備室廃止

４月　留萌消防団第１０代団長　室　田　博　之　就任

６月　小平消防団長　酒　谷　　貢　公益財団法人　北海道消防協会評議員　就任

１１月　留萌消防庁舎外構工事実施

留萌消防庁舎訓練塔新設工事実施

留萌消防庁舎落成式を挙行（11 月 7 日）

１２月　小平消防署鬼鹿支署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を配置、「鬼鹿６号車」と命名

小平消防署鬼鹿支署に電動油圧救助資機材一式を配置

２０１７年（平成２９年）

２月　旧小平６号車用途廃止 小平町へ無償譲渡する

１１月　留萌市内にて８２件の暴風被害を記録、これにより暴風災害対策チームを発足

暴風災害対応資器材の整備

２０１８年（平成３０年）

３月　管理者（留萌市長）中　西　俊　司　就任

留萌消防署に救助工作車Ⅱ型を配置

４月　副管理者（留萌市副市長）早　川　　隆　就任

第１５代消防長に消防本部総務課長　梅　澤　卓　也　就任

留萌消防署長　三　好　正　志　就任

２０１９年（平成３１年・令和元年）

３月　留萌消防署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を配置、「水槽１１号」と命名

４月　平成３０年７月の豪雨災害における留萌消防団の活動に対し、全国水防管理団体連合会より、「水防功労者表彰」が授与される

留萌消防署長　藤　原　　保　就任

１１月　ＪＡ共済より高規格救急自動車 トヨタﾊｲﾒﾃﾞｨｯｸの寄贈を受け小平消防署に配置、「小平５号車」と命名

２０２０年（令和２年）

４月　小平消防団第８代団長　近　江　基　輝　就任

小平消防団小平分団と達布分団を統合し、新管轄区域の「小平分団」発足

留萌消防署に高規格救急車 トヨタﾊｲﾒﾃﾞｨｯｸを配置、「留萌救急１」と命名

６月　留萌消防団長　室　田　博　之　公益財団法人　北海道消防協会評議員　就任

１０月　副管理者（留萌市副市長）　渡　辺　稔　之　就任

１１月　消防防災科学技術賞（消防防災機器等の開発・改良）優秀賞受賞（小平消防署）

留萌消防署にアイソレーター（NGF-03-Ⅱ型）を配置

２０２１年（令和３年）

３月　留萌消防署に NRS エキストリーム SAR ドライスーツ２着を配置

２０２２年（令和４年）

４月　留萌消防団第１１代団長　前　田　義　治　就任

留萌消防署に司令車（トヨタノア）を配置、「司令２号」と命名

６月　小平消防団長　近　江　基　輝　公益財団法人　北海道消防協会評議員　就任

２０２３年（令和５年）

４月　小平消防署に庁舎改築準備室設置

小平消防署長　勝　原　　盛　就任

２０２４年（令和６年）

４月　第１６代消防長に消防本部総務課長　菊　池　智　人　就任

留萌消防署長　塚　本　　伸　就任

小平消防署長　山　石　政　樹　就任

小平消防署に指令広報車（トヨタノア）を配置

１１月　留萌市消防後援会設立５０周年記念事業として、エアーテントの寄贈を受け留萌消防署に配置

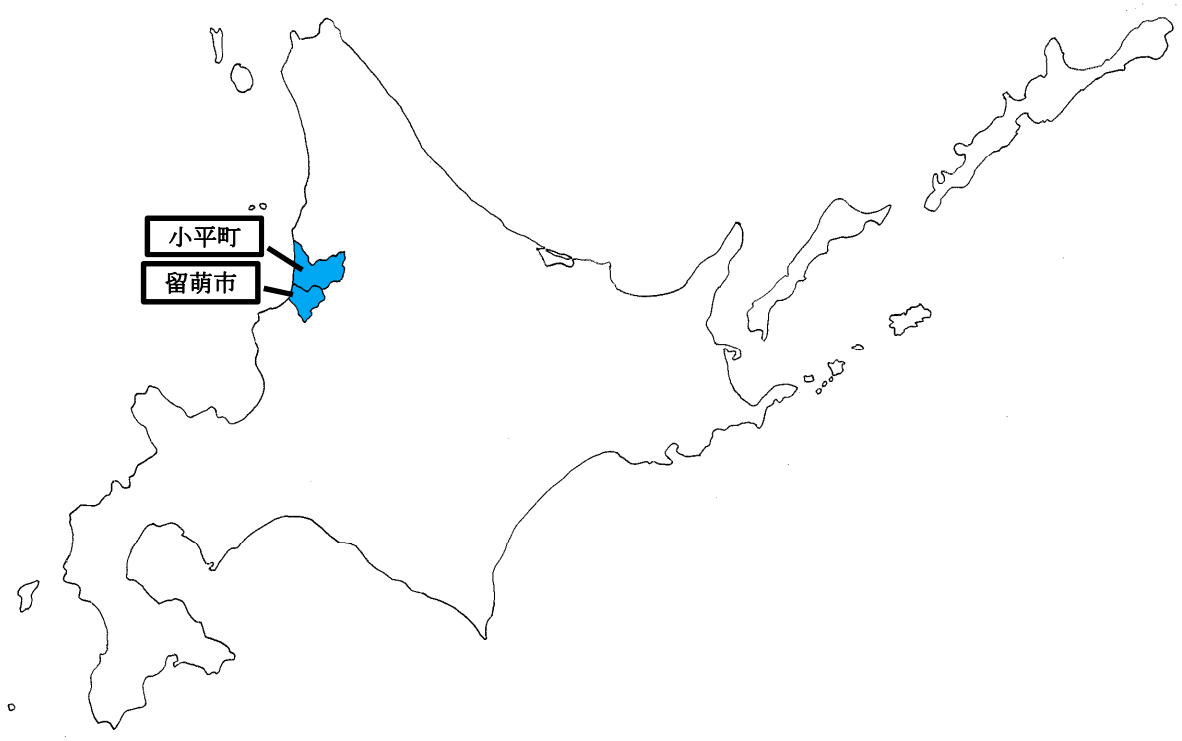
１２月　留萌消防団幌糠分団詰所を留萌市幌糠農業・農村支援センターに移転

留萌消防署に資器材搬送車を配置

留萌消防署にタイヤショベルを配置

消 防 組 合 の 組 織

留萌消防組合　管轄区域



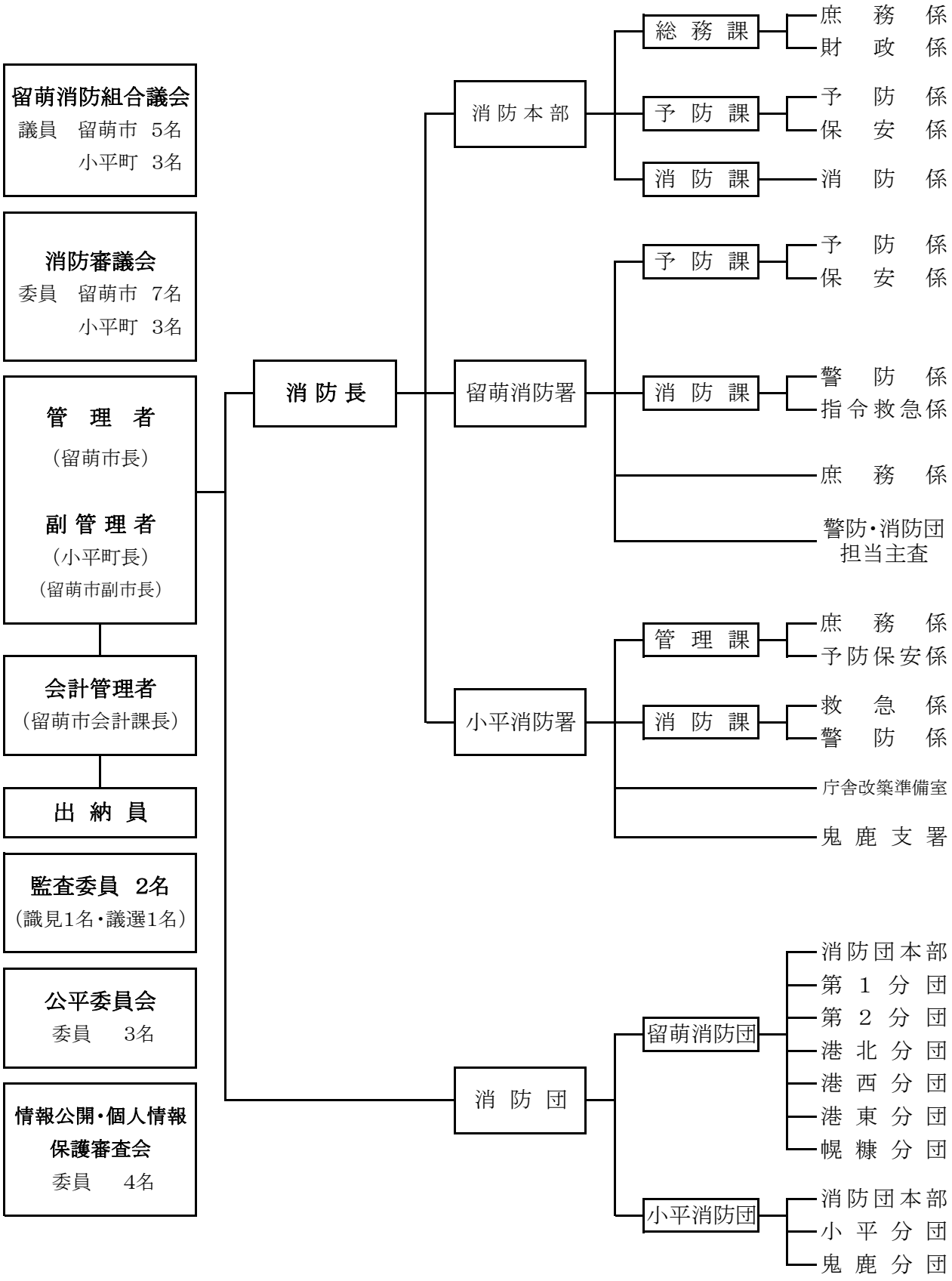
位　　置

区分 / 市町別	広　ぼ　う		位　　置			
	東　　西 (km)	南　　北 (km)	極　　東 (東経)	極　　西 (東経)	極　　南 (北緯)	極　　北 (北緯)
組 合 管 内	**34.0**	**44.6**	**142° 04′**	**141° 36′**	**43° 45′**	**44° 12′**
留　萌　市	23.6	12.6	141° 54′	141° 36′	43° 45′	43° 59′
小　平　町	34.0	32.0	142° 04′	141° 39′	43° 55′	44° 12′

面　　積

区分 / 市町別	総　面　積	山林面積	その他の面積
	㎢	㎢	㎢
組 合 管 内	**925.03**	**803.8**	**121.23**
留　萌　市	297.81	245.45	52.36
小　平　町	627.22	558.35	68.87

留 萌 消 防 組 合 の 機 構


留萌消防組合議会
議員　留萌市　5名
小平町　3名
消防審議会
委員　留萌市　7名
小平町　3名
管　理　者
（留萌市長）
副 管 理 者
（小平町長）
（留萌市副市長）
会計管理者
（留萌市会計課長）
出　納　員
監査委員　2名
（識見1名・議選1名）
公平委員会
委員　3名
情報公開・個人情報保護審査会
委員　4名
消 防 長
消 防 本 部
総 務 課
庶　務　係
財　政　係
予 防 課
予　防　係
保　安　係
消 防 課
消　防　係
留萌消防署
予 防 課
予　防　係
保　安　係
消 防 課
警　防　係
指令救急係
庶　務　係
警防・消防団担当主査
小平消防署
管 理 課
庶　務　係
予防保安係
消 防 課
救　急　係
警　防　係
庁舎改築準備室
鬼 鹿 支 署
消 防 団
留萌消防団
消防団本部
第 1 分 団
第 2 分 団
港 北 分 団
港 西 分 団
港 東 分 団
幌 糠 分 団
小平消防団
消防団本部
小 平 分 団
鬼 鹿 分 団

管　理　者

副 管 理 者

収　入　役

管理者 ・ 副管理者 ・ 収入役

管理者（留萌市長）

中　西　俊　司

副管理者（小平町長）

関　　次　雄

副管理者（留萌市副市長）

渡　辺　稔　之

歴代管理者

原　田　栄　一	（留萌市長）	昭和４９年４月１日	～	昭和６１年３月９日
五十嵐　悦　郎	（留萌市長）	昭和６１年３月１０日	～	平成６年３月９日
長　沼　憲　彦	（留萌市長）	平成６年３月１０日	～	平成１８年３月９日
高　橋　定　敏	（留萌市長）	平成１８年３月１０日	～	平成３０年３月９日
中　西　俊　司	（留萌市長）	平成３０年３月１０日	～	現　　職

歴代副管理者

五十嵐　庄　治	（小平町長）	昭和４９年４月１日	～	昭和５７年１１月８日
鷹　橋　三　郎	（留萌市助役）	昭和４９年４月１日	～	昭和５４年６月２２日
石　黒　邦　雄	（留萌市助役）	昭和５４年６月２３日	～	昭和５８年６月２２日
尾　作　昭　義	（小平町長）	昭和５７年１１月８日	～	昭和６１年１１月８日
五十嵐　悦　郎	（留萌市助役）	昭和５８年６月２３日	～	昭和５９年７月１５日
新　名　秀　雄	（小平町長）	昭和６１年１１月９日	～	平成１０年１１月８日
梅　澤　文　敏	（留萌市助役）	昭和５９年７月１６日	～	平成４年７月１５日
西　野　正　和	（留萌市助役）	平成４年７月１６日	～	平成８年７月１５日
高　橋　　守	（留萌市助役）	平成８年７月１６日	～	平成１４年７月１５日
横　濱　　磨	（小平町長）	平成１０年１１月９日	～	平成２２年１１月８日
山　本　憲　二	（留萌市助役）	平成１４年７月１６日	～	平成１８年７月１日
竹　中　　貢	（留萌市助役）	平成１８年７月２日	～	平成２２年７月１日
中　西　俊　司	（留萌市副市長）	平成２２年７月２日	～	平成２９年１２月２１日
関　　次　雄	（小平町長）	平成２２年１１月９日	～	現　　職
早　川　　隆	（留萌市副市長）	平成３０年　４月　１日	～	令和２年６月３０日
渡　辺　稔　之	（留萌市副市長）	令和２年１０月１日	～	現　　職

歴代収入役

折　橋　直　作	（留萌市収入役）	昭和４９年４月１日	～	昭和５０年６月２８日
石　黒　邦　雄	（留萌市収入役）	昭和５０年６月２９日	～	昭和５４年６月２３日
尾　池　里　美	（留萌市収入役）	昭和５４年６月２４日	～	昭和５９年２月２２日
佐　藤　年　光	（留萌市収入役）	昭和５９年７月１６日	～	平成４年７月１５日
小野寺　祐　治	（留萌市収入役）	平成４年７月１６日	～	平成８年７月１５日

橋　本　典　明	（留萌市収入役）	平成８年７月１６日	～	平成１２年７月１５日
山　本　憲　二	（留萌市収入役）	平成１２年７月１６日	～	平成１４年７月１５日
吉　田　俊　昭	（留萌市収入役）	平成１４年７月１６日	～	平成１８年７月１５日

消 防 議 会 議 員

消 防 組 合 議 会 議 員

（ 令和5年5月1日 ～ 現　職 ）

留萌消防組合議会議長	米　倉　靖　夫	留萌市選出
留萌消防組合議会副議長	板　垣　良　二	小平町選出
留萌消防組合議会議員	戸　水　美保子	留萌市選出
留萌消防組合議会議員	小　沼　清　美	留萌市選出
留萌消防組合議会議員	鈴　田　亜　湖	留萌市選出
留萌消防組合議会議員	宇　川　達　朗	留萌市選出
留萌消防組合議会議員	瀧　川　　司	小平町選出
留萌消防組合議会議員	西　村　健　一	小平町選出

消防組合議会議員名簿

歴代議長

氏　名	任　期	備　考
大村　辰雄	昭和49年4月1日　～　昭和49年10月18日	留萌市議会議員
三国　二郎	昭和49年12月14日　～　昭和50年4月30日	留萌市議会議員
佐藤　孫吉	昭和50年5月1日　～　昭和50年6月20日	留萌市議会議員
居林　重雄	昭和50年6月21日　～　昭和54年4月30日	留萌市議会議員
加藤　文夫	昭和54年5月1日　～　昭和62年4月30日	留萌市議会議員
小野　佐一	昭和62年5月1日　～　平成3年4月30日	留萌市議会議員
寺本　康雄	平成3年5月1日　～　平成7年4月30日	留萌市議会議員
原田　昌男	平成7年5月1日　～　平成11年4月30日	留萌市議会議員
珍田　亮子	平成15年5月1日　～　平成19年4月30日	留萌市議会議員
村上　　均	平成19年5月1日　～　平成23年4月30日	留萌市議会議員
松本　衆司	平成23年5月1日　～　平成27年4月30日	留萌市議会議員
野呂　照幸	平成27年5月1日　～　平成30年12月20日	留萌市議会議員
坂本　守正	平成30年12月21日　～　平成31年4月30日	留萌市議会議員
燕　　昌克	令和元年5月1日　～　令和5年4月30日	留萌市議会議員
米倉　靖夫	令和5年5月1日　～　現　　職	留萌市議会議員

歴代副議長

氏　名	就任年月日	備　考
三国　二郎	昭和49年4月1日　～　昭和49年12月13日	留萌市議会議員
山岸　与作	昭和49年12月14日　～　昭和50年4月30日	留萌市議会議員
居林　重雄	昭和50年5月1日　～　昭和50年6月20日	留萌市議会議員
指川　　健	昭和50年6月21日　～　昭和54年3月27日	留萌市議会議員
野崎　良夫	昭和54年5月1日　～　昭和58年4月30日	留萌市議会議員
大室　重一	昭和58年5月1日　～　昭和60年6月21日	留萌市議会議員
古林勝　昭	昭和60年6月22日　～　昭和62年4月30日	留萌市議会議員
勝山　武雄	昭和62年5月1日　～　平成3年4月30日	留萌市議会議員
三好　忠晴	平成3年5月1日　～　平成7年4月30日	小平町議会議員
東　　克弘	平成7年5月1日　～　平成11年4月30日	小平町議会議員
斉藤　清治	平成11年5月1日　～　平成15年4月30日	小平町議会議員
石黒　勝己	平成15年5月1日　～　平成19年4月30日	小平町議会議員
藤田　　貢	平成19年5月1日　～　平成23年4月30日	小平町議会議員
東海林　孝一郎	平成23年5月1日　～　平成27年4月30日	小平町議会議員
村井　フミ子	平成27年5月1日　～　平成31年4月30日	小平町議会議員
板垣　良二	令和元年5月1日　～　令和5年4月30日	小平町議会議員
板垣　良二	令和5年5月1日　～　現　　職	小平町議会議員

歴代議員

氏　名	就任年月日	備　考
山岸　与作	昭和49年4月1日　～　昭和49年12月13日	留萌市議会議員
安代　康二	昭和49年4月1日　～　昭和50年4月30日	留萌市議会議員
古野　洋介	昭和49年4月1日　～　昭和60年6月21日	留萌市議会議員
佐藤　清一	昭和49年4月1日　～　昭和54年4月30日	留萌市議会議員
川崎　　忠	昭和49年4月1日　～　昭和58年4月30日	留萌市議会議員
加藤　文夫	昭和49年10月19日　～　昭和54年4月30日	留萌市議会議員
指川　　健	昭和50年5月1日　～　昭和54年6月20日	留萌市議会議員
西川　　尊	昭和50年6月21日　～　昭和54年4月30日	留萌市議会議員
大室　重一	昭和54年5月1日　～　昭和58年4月30日	留萌市議会議員
石井　信祐	昭和54年5月1日　～　平成7年4月30日	留萌市議会議員
居林　重雄	昭和54年5月1日　～　昭和58年4月30日	留萌市議会議員
近藤　信久	昭和58年5月1日　～　昭和62年4月30日	留萌市議会議員
野崎　良夫	昭和58年5月1日　～　昭和62年4月30日	留萌市議会議員
	平成3年5月1日　～　平成7年4月30日	留萌市議会議員
塩谷　洋次	昭和58年5月1日　～　昭和60年6月21日	留萌市議会議員
	昭和62年5月1日　～　平成3年4月30日	留萌市議会議員
本内　義徳	昭和60年6月22日　～　昭和62年4月30日	留萌市議会議員
本内　義徳	平成1年6月17日　～　平成3年4月30日	留萌市議会議員
本内　義徳	平成7年5月1日　～　平成11年4月30日	留萌市議会議員
勝山　武雄	昭和60年6月22日　～　昭和62年4月30日	留萌市議会議員
原田　昌男	昭和62年5月1日　～　平成3年4月30日	留萌市議会議員
原田　昌男	平成15年5月1日　～　平成19年4月30日	留萌市議会議員
児玉　信一	昭和62年5月1日　～　平成1年6月16日	留萌市議会議員
	平成7年5月1日　～　平成11年4月30日	留萌市議会議員
寺本　康雄	昭和62年5月1日　～　平成3年4月30日	留萌市議会議員
直田　政二	平成3年5月1日　～　平成7年4月30日	留萌市議会議員
	平成11年5月1日　～　平成15年4月30日	留萌市議会議員
西田　政雄	平成3年5月1日　～　平成7年4月30日	留萌市議会議員
田中　常男	平成3年5月1日　～　平成11年4月30日	留萌市議会議員
森田　久芳	平成3年5月1日　～　平成7年4月30日	留萌市議会議員
天谷　孝行	平成7年5月1日　～　平成11年4月30日	留萌市議会議員
天谷　孝行	平成15年5月1日　～　平成19年4月30日	留萌市議会議員
天谷　孝行	平成23年5月1日　～　平成27年4月30日	留萌市議会議員

浅石　鉄男	平成7年5月1日　～　平成11年4月30日	留萌市議会議員
沢出　　隆	平成7年5月1日　～　平成11年4月30日	留萌市議会議員
珍田　亮子	平成11年5月1日　～　平成15年4月30日	留萌市議会議員
珍田　亮子	平成19年5月1日　～　平成23年4月30日	留萌市議会議員
近藤　明美	平成11年5月1日　～　平成15年4月30日	留萌市議会議員
道　　重幸	平成11年5月1日　～　平成15年4月30日	留萌市議会議員
原田　丈三	平成11年5月1日　～　平成15年4月30日	留萌市議会議員
村上　　均	平成11年5月1日　～　平成15年4月30日	留萌市議会議員
松本　衆司	平成15年5月1日　～　平成19年4月30日	留萌市議会議員
高橋　信郎	平成15年5月1日　～　平成19年4月30日	留萌市議会議員
坂本　守正	平成15年5月1日　～　平成23年4月30日	留萌市議会議員
坂本　　茂	平成19年5月1日　～　平成31年4月30日	留萌市議会議員
富田　直樹	平成19年5月1日　～　平成23年4月30日	留萌市議会議員
燕　　昌克	平成23年5月1日　～　平成27年4月30日	留萌市議会議員
小野　敏雄	平成27年5月1日　～　平成31年4月30日	留萌市議会議員
澤井　篤司	平成27年5月1日　～　平成31年4月30日	留萌市議会議員
米倉　靖夫	平成27年5月1日　～　令和5年4月30日	留萌市議会議員
戸水　美保子	令和元年5月1日　～　現　　職	留萌市議会議員
芳賀　博康	令和元年5月1日　～　令和5年4月30日	留萌市議会議員
村山　ゆかり	令和元年5月1日　～　令和5年4月30日	留萌市議会議員
小沼　清美	令和5年5月1日　～　現　　職	留萌市議会議員
鈴田　亜湖	令和5年5月1日　～　現　　職	留萌市議会議員
宇川　達朗	令和5年5月1日　～　現　　職	留萌市議会議員

野崎　鉄夫	昭和49年4月1日　～　昭和54年4月30日	小平町議会議員
	昭和58年5月1日　～　昭和62年4月30日	
小笠原　敏武	昭和49年4月1日　～　昭和54年4月30日	小平町議会議員
菅野　兼次	昭和49年4月1日　～　昭和50年4月30日	小平町議会議員
土井川　善光	昭和50年5月1日　～　昭和58年4月30日	小平町議会議員
葛西　久雄	昭和54年5月1日　～　昭和58年4月30日	小平町議会議員
佐々木　文雄	昭和54年5月1日　～　昭和58年4月30日	小平町議会議員
	昭和62年5月1日　～　平成3年4月30日	
飯田　信昭	昭和58年5月1日　～　昭和62年4月30日	小平町議会議員
斉藤　由実	昭和58年5月1日　～　平成7年4月30日	小平町議会議員
斉藤　博	昭和62年5月1日　～　平成3年4月30日	小平町議会議員
関　次雄	平成3年5月1日　～　平成7年4月30日	小平町議会議員
岩倉　晃	平成7年5月1日　～　平成11年4月30日	小平町議会議員
三好　忠晴	平成7年5月1日　～　平成11年4月30日	小平町議会議員
杉本　庄次	平成11年5月1日　～　平成15年4月30日	小平町議会議員
藤田　貢	平成11年5月1日　～　平成15年4月30日	小平町議会議員
工藤　雄壽	平成15年5月1日　～　平成23年4月30日	小平町議会議員
向井　勝広	平成15年5月1日　～　平成23年4月30日	小平町議会議員
村井　フミ子	平成23年5月1日　～　平成31年4月30日	小平町議会議員
山内　裕	平成23年5月1日　～　平成27年4月30日	小平町議会議員
板垣　良二	平成27年5月1日　～　平成31年4月30日	小平町議会議員
西　博志	平成27年5月1日　～　令和5年4月30日	小平町議会議員
髙野　謙市	令和元年5月1日　～　令和5年4月30日	小平町議会議員
瀧川　司	令和5年5月1日　～　現　職	小平町議会議員
西村　健一	令和5年5月1日　現　職	小平町議会議員

監 査 委 員

公 平 委 員

審 議 会 委 員

情報公開・個人情報保護審査会委員

監 査 委 員

代表監査委員
武 田 浩 一

監査委員
鈴 田 亜 湖

歴代監査委員

氏　名	選出別	就任期間
青石　正雄	知識経験者	昭和49年4月1日 ～ 昭和56年3月31日
野崎　鉄夫	議会議員	昭和49年4月1日 ～ 昭和54年5月17日
土井川　善光	議会議員	昭和54年5月18日 ～ 昭和58年5月19日
二本柳　正彦	知識経験者	昭和56年4月1日 ～ 平成7年5月31日
野崎　鉄夫	議会議員	昭和58年5月20日 ～ 昭和62年5月19日
佐々木　文雄	議会議員	昭和62年5月20日 ～ 平成3年5月17日
石井　信祐	議会議員	平成3年5月18日 ～ 平成7年5月31日
中野　勝博	知識経験者	平成7年6月1日 ～ 平成11年5月31日
児玉　信一	議会議員	平成7年6月1日 ～ 平成11年5月31日
大川　寿幸	知識経験者	平成11年6月1日 ～ 平成17年9月30日
直田　政二	議会議員	平成11年6月1日 ～ 平成15年5月31日
原田　昌男	議会議員	平成15年6月1日 ～ 平成19年5月31日
阿部　洋一	知識経験者	平成17年10月13日 ～ 平成21年10月12日
珍田　亮子	議会議員	平成19年6月1日 ～ 平成23年4月30日
祐川　正幸	知識経験者	平成21年10月13日 ～ 平成25年10月12日
野呂　照幸	議会議員	平成23年5月31日 ～ 平成27年4月30日
岩崎　智樹	知識経験者	平成25年10月13日 ～ 平成31年3月31日
坂本　茂	議会議員	平成27年5月23日 ～ 平成31年4月30日
益田　克己	知識経験者	平成31年4月1日 ～ 令和5年3月31日
村山　ゆかり	議会議員	令和元年6月4日 ～ 令和5年4月30日
武田　浩一	知識経験者	令和5年4月1日 ～ 現　職
鈴田　亜湖	議会議員	令和5年5月24日 ～ 現　職

公 平 委 員 会

委員長	委　員	委　員
川 村　豊	**伊 端 隆 康**	**中 出 いずみ**

歴代公平委員

氏　名	就　任　期　間
松 橋　英 三	昭 和 49 年 4 月 1 日　～　昭 和 50 年 6 月 30 日
天 内　雄 作	昭 和 49 年 4 月 1 日　～　昭 和 49 年 6 月 24 日
小 野　義 信	昭 和 49 年 4 月 1 日　～　昭 和 52 年 10 月 4 日
古 川　数 登	昭 和 49 年 7 月 3 日　～　平 成 3 年 10 月 3 日
安 部　博	昭 和 50 年 7 月 1 日　～　昭 和 54 年 6 月 30 日
山 田　宏 男	昭 和 54 年 9 月 3 日　～　昭 和 62 年 9 月 24 日
笠 原　英 雄	昭 和 57 年 4 月 1 日　～　昭 和 58 年 3 月 31 日
鈴 木　松 雄	昭 和 58 年 4 月 1 日　～　昭 和 61 年 12 月 17 日
川 合　正 修	昭 和 62 年 12 月 1 日　～　平 成 6 年 10 月 13 日
高 原　光 雄	平 成 2 年 4 月 1 日　～　平 成 14 年 3 月 31 日
和 泉　克 佳	平 成 3 年 12 月 25 日　～　平 成 17 年 10 月 31 日
渡 部　重 夫	平 成 6 年 12 月 27 日　～　平 成 15 年 11 月 30 日
丹 尾　久 夫	平 成 14 年 4 月 1 日　～　平 成 21 年 10 月 21 日
勝 山　葉 子	平 成 15 年 12 月 1 日　～　平 成 23 年 11 月 30 日
中 野　亨	平 成 17 年 11 月 1 日　～　平 成 27 年 1 月 8 日
石 塚　清 夫	平 成 21 年 10 月 22 日　～　平 成 30 年 3 月 31 日
鉢 呂　康 子	平 成 23 年 12 月 1 日　～　令 和 元 年 11 月 30 日
石 塚　清 夫	平 成 21 年 10 月 22 日　～　平 成 30 年 3 月 31 日
伊 端　隆 康	平 成 27 年 3 月 24 日　～　現　職
川 村　豊	平 成 30 年 4 月 1 日　～　現　職
中 出　いずみ	令 和 元 年 12 月 1 日　～　現　職

消 防 審 議 会

消防審議会委員

会　　長	田中　　基	留萌市
副会長	照井　廣章	小平町
委　　員	佐藤　邦子	留萌市
委　　員	竹中　ますみ	小平町
委　　員	三國　久介	留萌市
委　　員	菅原　憲一	留萌市
委　　員	野原　正好	留萌市
委　　員	櫛井　陽介	留萌市
委　　員	和田　　孝	小平町
委　　員	大沼　　大	留萌市

（令和6年8月1日現在）

歴代会長

氏　名	就任期間
小澤　久吉	昭和49年6月20日 ～ 昭和55年6月19日
森本　正義	昭和55年9月18日 ～ 昭和61年6月19日
石黒　邦雄	昭和61年6月20日 ～ 平成10年7月14日
寺西　保博	平成10年7月15日 ～ 平成16年7月14日
堀口　　亘	平成16年7月15日 ～ 平成20年11月13日
森田　　修	平成22年7月15日 ～ 平成24年7月14日
大沼　哲郎	平成24年7月15日 ～ 平成30年7月15日
田中　　基	平成30年7月16日 ～ 現　　職

歴代副会長

氏　名	就任期間
中原　　厚	昭和49年6月20日 ～ 昭和57年6月19日
神田　徳次郎	昭和57年8月31日 ～ 平成4年7月14日
野崎　磯夫	平成4年7月15日 ～ 平成8年7月14日
佐々間　徹夫	平成8年7月15日 ～ 平成11年3月31日
川森　康次郎	平成12年3月2日 ～ 平成16年7月14日
森田　　修	平成16年7月15日 ～ 平成22年7月14日
山根　唯勝	平成22年7月15日 ～ 平成24年7月14日

藤田　壽男	平成24年7月15日	～	令和2年7月14日
近江　基輝	令和2年7月15日	～	令和4年7月14日
空橋　　仁	令和4年7月15日	～	令和6年7月14日
照井　廣章	令和6年7月15日	～	現　　職

歴代委員

氏　名	就任期間		
道　重雄	昭和49年6月20日	～	昭和63年10月14日
古野　三千治	昭和49年6月20日	～	昭和59年6月23日
中原　　厚	昭和49年6月20日	～	昭和57年6月19日
神田　徳次郎	昭和49年6月20日	～	平成4年7月14日
小澤　久吉	昭和49年6月20日	～	昭和55年6月19日
森本　正義	昭和49年6月20日	～	昭和61年6月19日
西澤　伸一	昭和49年6月20日	～	昭和57年11月25日
指川　　健	昭和49年6月20日	～	昭和50年6月9日
	昭和53年6月20日	～	昭和55年6月19日
横井　俊三	昭和49年6月20日	～	昭和52年11月30日
福田　信也	昭和50年6月10日	～	昭和53年6月19日
福田　信也	昭和55年6月20日	～	昭和63年6月19日
五十嵐　悦郎	昭和53年12月1日	～	昭和58年7月31日
野原　忠治	昭和55年6月20日	～	昭和58年7月31日
	平成1年2月1日	～	平成10年1月25日
春木　久雄	昭和57年6月20日	～	平成4年1月20日
中嶋　秀男	昭和57年6月20日	～	昭和63年6月19日
矢野　　敏	昭和57年11月25日	～	平成3年1月17日
佐藤　孫吉	昭和58年8月1日	～	昭和61年6月19日
梅澤　文敏	昭和58年8月1日	～	昭和59年7月31日
石黒　邦雄	昭和59年6月20日	～	平成10年7月14日
大津　和雄	昭和59年8月1日	～	昭和63年6月19日
久保田　八十八	昭和61年6月20日	～	平成10年7月14日
佐藤　清一	昭和61年6月20日	～	平成2年12月23日
寺西　保博	昭和63年6月20日	～	平成16年7月14日
野崎　磯夫	昭和63年6月20日	～	平成8年7月14日
西野　正和	昭和63年6月20日	～	平成4年7月14日

道　　重幸	平成3年1月18日	～	平成2年6月19日
川森　康次郎	平成3年1月18日	～	平成11年2月7日
	平成11年4月1日	～	平成16年7月14日
堀口　　亘	平成4年7月15日	～	平成20年11月13日
菅野　幸雄	平成4年7月15日	～	平成11年3月31日
石崎　敏弘	平成4年7月15日	～	平成6年1月16日
橋本　典明	平成6年1月17日	～	平成8年7月14日
佐々間　徹夫	平成8年7月15日	～	平成11年3月31日
館野　和行	平成8年7月15日	～	平成10年1月25日
山根　唯勝	平成10年7月15日	～	平成24年7月14日
大沼　哲郎	平成10年7月15日	～	平成24年7月14日
穂積　登志子	平成16年7月15日	～	平成24年7月14日
渋谷　和夫	平成10年1月26日	～	平成11年3月31日
鈴田　繁一	平成10年1月26日	～	平成12年3月31日
岩谷　冨雄	平成12年3月2日	～	平成20年7月14日
佐藤　善美	平成12年3月2日	～	平成16年7月14日
森田　　修	平成11年2月8日	～	平成14年7月14日
	平成16年7月15日	～	平成24年7月14日
石塚　清夫	平成12年7月15日	～	平成14年3月31日
荒井　勝子	平成16年7月15日	～	平成24年7月14日
横山　千恵子	平成16年7月15日	～	平成20年7月14日
安達　涼子	平成16年7月15日	～	平成20年7月14日
新名　清二	平成16年7月15日	～	平成18年7月14日
五十嵐　正孝	平成18年7月15日	～	平成22年7月14日
伊藤　シズ子	平成20年7月15日	～	令和2年7月14日
丸田　和恵	平成20年7月15日	～	令和2年7月14日
飛島　弦二	平成20年7月15日	～	平成22年7月14日
松下　　功	平成22年7月15日	～	令和2年7月14日
土佐　誠一	平成22年7月15日	～	平成24年7月14日
田中　　基	平成22年7月15日	～	平成30年7月14日
岩田　彰益	平成24年7月15日	～	平成26年7月14日
酒谷　　貢	平成24年7月15日	～	平成27年6月30日
菅原　憲一	平成24年7月15日	～	現　　職
澤井　篤司	平成24年7月15日	～	平成27年6月30日

野　原　　正　好	平　成　26　年　7　月　15　日	～	現	職
近　江　　基　輝	平　成　27　年　7　月　15　日	～	令　和　2　年　7　月　14　日	
真　田　　和　夫	平　成　27　年　7　月　15　日	～	令　和　4　年　7　月　14　日	
大　沼　　　大	平　成　30　年　7　月　15　日	～	現	職
佐　藤　　邦　子	令　和　2　年　7　月　15　日	～	現	職
竹　中　　ますみ	令　和　2　年　7　月　15　日	～	現	職
三　國　　久　介	令　和　2　年　7　月　15　日	～	現	職
櫛　井　　陽　介	令　和　4　年　7　月　15　日	～	現	職
和　田　　　孝	令　和　4　年　7　月　15　日	～	現	職

情報公開・個人情報保護審査会

会長	職務代理者
松嶋佳史	**川原秀紀**

委員	委員
大嶋裕子	**櫻庭好子**

歴代情報公開・個人情報保護審査会委員

氏名	就任期間
二村　沙英	平成28年4月1日　～　令和元年8月27日
佐藤　亨子	平成28年4月1日　～　令和2年3月31日
武田　秀一	平成28年4月1日　～　令和4年3月31日
高橋　理佳	平成28年4月1日　～　令和4年3月31日
石川　貴博	令和元年8月28日　～　令和3年10月31日
大嶋　裕子	令和2年10月12日　～　現職
松嶋　佳史	令和3年11月1日　～　現職
川原　秀紀	令和4年10月13日　～　現職
櫻庭　好子	令和4年10月13日　～　現職

消 防 本 部

留 萌 消 防 署

小 平 消 防 署

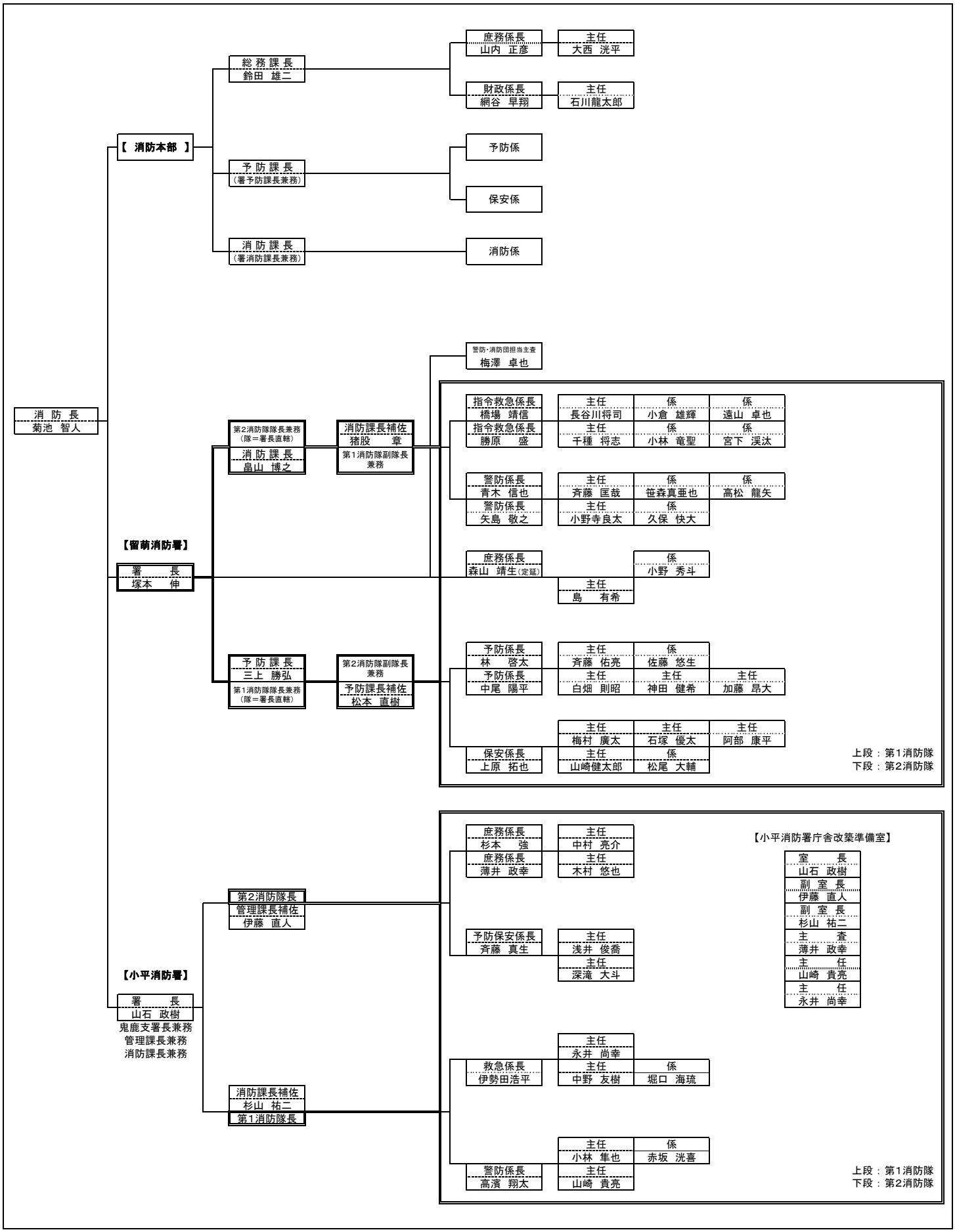
歴代消防長・本部次長

歴代消防長

歴代	氏　名	就任年月日
初代	北村　茂	昭和49年4月1日　～
2代	金澤　勲	昭和57年5月1日　～
3代	松下　功	昭和62年4月1日　～
4代	大川寿幸	平成7年4月1日　～
5代	西谷幸吉	平成10年4月1日　～
6代	大塚武弥	平成12年4月1日　～
7代	中村吉信	平成14年11月1日　～
8代	三国久介	平成18年4月1日　～
9代	小原寿政	平成21年4月1日　～
10代	佐藤昌史	平成24年4月1日　～
11代	中路和也	平成26年4月1日　～
12代	梅澤卓也	平成30年4月1日　～
13代	菊池智人	令和6年4月1日　～　現　職

歴代消防本部次長

歴代	氏　名	就任期間
初代	金澤勝男	昭和49年4月1日　～　昭和52年5月7日
2代	金澤　勲	昭和52年9月1日　～　昭和57年4月30日
3代	木村久男	昭和57年6月1日　～　昭和59年8月22日
4代	松下　功	昭和60年4月1日　～　昭和62年3月31日
5代	小松克己	昭和62年4月1日　～　平成7年3月31日
6代	西谷幸吉	平成7年4月1日　～　平成10年3月31日
7代	中黒康二	平成15年11月1日　～　平成17年3月31日


消 防 長
菊池 智人
【 消防本部 】
総 務 課 長
鈴田 雄二
庶務係長
山内 正彦
主任
大西 洸平
財政係長
網谷 早翔
主任
石川龍太郎
予 防 課 長
(署予防課長兼務)
予防係
保安係
消 防 課 長
(署消防課長兼務)
消防係
警防・消防団担当主査
梅澤 卓也
【留萌消防署】
署 長
塚本 伸
第2消防隊隊長兼務
(隊＝署長直轄)
消 防 課 長
畠山 博之
消防課長補佐
猪股 章
第1消防隊副隊長
兼務
指令救急係長
橋場 靖信
主任
長谷川将司
係
小倉 雄輝
係
遠山 卓也
指令救急係長
勝原 盛
主任
千種 将志
係
小林 竜聖
係
宮下 渓汰
警防係長
青木 信也
主任
斉藤 匡哉
係
笹森真亜也
係
高松 龍矢
警防係長
矢島 敬之
主任
小野寺良太
係
久保 快大
庶務係長
森山 靖生(定延)
係
小野 秀斗
主任
島 有希
予 防 課 長
三上 勝弘
第1消防隊隊長兼務
(隊＝署長直轄)
第2消防副隊長
兼務
予防課長補佐
松本 直樹
予防係長
林 啓太
主任
斉藤 佑亮
係
佐藤 悠生
予防係長
中尾 陽平
主任
白畑 則昭
主任
神田 健希
主任
加藤 昂大
主任
梅村 廣太
主任
石塚 優太
主任
阿部 康平
保安係長
上原 拓也
主任
山崎健太郎
係
松尾 大輔
上段：第1消防隊
下段：第2消防隊
【小平消防署】
署 長
山石 政樹
鬼鹿支署長兼務
管理課長兼務
消防課長兼務
第2消防隊長
管理課長補佐
伊藤 直人
庶務係長
杉本 強
主任
中村 亮介
庶務係長
薄井 政幸
主任
木村 悠也
【小平消防署庁舎改築準備室】
室 長
山石 政樹
副 室 長
伊藤 直人
副 室 長
杉山 祐二
主 査
薄井 政幸
主 任
山崎 貴亮
主 任
永井 尚幸
予防保安係長
斉藤 真生
主任
浅井 俊喬
主任
深滝 大斗
消防課長補佐
杉山 祐二
第1消防隊長
主任
永井 尚幸
救急係長
伊勢田浩平
主任
中野 友樹
係
堀口 海琉
主任
小林 隼也
係
赤坂 洸喜
警防係長
高濱 翔太
主任
山崎 貴亮
上段：第1消防隊
下段：第2消防隊

留 萌 消 防 団

小 平 消 防 団

消 防 団

留 萌 消 防 団

消 防 団 本 部

団 長
前 田 義 治

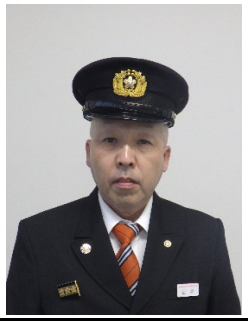
副団長
千 葉 勝 也

副団長
米 倉 靖 夫

女 性 消 防 団 員

階 級	氏 名	階 級	氏 名
部 長	石 田 智 子	班 長	松 本 真由美
部 長	山 本 実 恵	団 員	長 尾 奈緒子
班 長	松 本 真由美	団 員	宗 像 由 貴
班 長	穐 田 みゆき	団 員	横 関 真由美
班 長	豊 田 千 春	団 員	小 林 さとみ

第１分団



分団長

宮　本　義　貴

階　級	氏　　名	階　級	氏　　名
副分団長	前　端　宏　隆	班　　長	後　藤　丈　志
副分団長	寺　澤　和　人	班　　長	神　部　祐　嗣
部　　長	伊　藤　翔　平	団　　員	片　山　　透
部　　長	田　中　圭　太	団　　員	工　藤　博　仁
班　　長	福　山　和　也	団　　員	伊　藤　　肇
班　　長	角　谷　浩　明		

第２分団

分団長

杉　本　紀　昭

階　級	氏　　名	階　級	氏　　名
副分団長	東　原　幸　司	団　　員	越　田　行　一
副分団長	矢　島　良　規	団　　員	三　浦　敏　之
部　　長	田　路　貴　正	団　　員	木　戸　　厚
部　　長	前　田　康　太	団　　員	濱　﨑　　翔
部　　長	菅　原　英　年	団　　員	山　口　真　葉
部　　長	相　内　賢　二	団　　員	南　　晃　平
班　　長	坂　本　一　樹	団　　員	髙　橋　　望
班　　長	塚　本　　敦	団　　員	工　藤　篤　司
班　　長	吉　本　貴　司	団　　員	横　山　健　治
班　　長	南　　邦　彦	団　　員	地　主　　司
団　　員	上　野　友　弘	団　　員	松　谷　大　輔
団　　員	谷　　祥　輝	団　　員	鈴　木　皇　祐

港 北 分 団

分団長

深　瀬　則　昭

階　級	氏　　名	階　級	氏　　名
副分団長	渡　辺　雅　人	班　　長	松　澤　和　志
副分団長	佐　藤　　剛	団　　員	水　上　義　一
部　　長	深　瀬　　透	団　　員	椿　谷　虎　乃
部　　長	近　藤　啓　一	団　　員	佐々木　佑　輔
部　　長	菊　地　正　和	団　　員	加　藤　慎　一
班　　長	水　上　壮一郎	団　　員	松　平　義　則
班　　長	佐々木　忠　孝		

港 西 分 団

分団長

植　村　英　治

階　級	氏　　名
副分団長	斉　藤　孝　行
部　　長	谷　村　　歩
団　　員	岡　田　文　明
団　　員	柴　田　春　夫
団　　員	八　谷　正　洋

港東分団

分団長

佐々木　洋　一

階　級	氏　　名	階　級	氏　　名
副分団長	三　木　秀　人	班　　長	齋　藤　晃　裕
副分団長	野　原　正　好	班　　長	高　田　祐　介
部　　長	丸　山　秀　勝	班　　長	高　田　祐　介
部　　長	川　井　和　秋	団　　員	杉　本　憲　茂
部　　長	堀　　慎　司	団　　員	前　田　大　地
部　　長	山　本　大　幸	団　　員	平　尾　基　樹
班　　長	佐々木　涼　太	団　　員	我那覇　大　志

幌糠分団

分団長

谷　　和　仁

階　級	氏　　名	階　級	氏　　名
副分団長	佐　藤　憲　二	班　　長	尾　田　孝　之
副分団長	中　尾　　淳	班　　長	竹　内　直　人
部　　長	道　見　和　弘	団　　員	山　中　智　元
部　　長	山　田　隆　幸	団　　員	佐　藤　武　志
部　　長	室　田　強　志	団　　員	髙　橋　　淳
部　　長	横　山　栄　樹	団　　員	大　村　俊　之
班　　長	小　野　正　志	団　　員	室　田　優　佑
班　　長	中　尾　勇　基	団　　員	菅　野　孝　平

消 防 団

小 平 消 防 団

消 防 団 本 部

団 長
近 江 基 輝

副団長
石 黒 義 徳

副団長
中 嶋 博 之

小平分団

分団長

岸　良　　斉

小 平 分 団 小 平 班

階　級	氏　　名	階　級	氏　　名
副分団長	佐　藤　秀　夫	団　　員	西　山　裕　哉
部　　長	永　井　伸　二	団　　員	加　我　英　悟
部　　長	紅　屋　　裕	団　　員	櫻　庭　亮　太
部　　長	西　　博　志	団　　員	山　﨑　昭　緒
班　　長	斉　藤　隆　幸	団　　員	太　田　幸　介
班　　長	奥　山　昭　一	団　　員	佐　藤　駿　伍
班　　長	新　名　功　基	団　　員	芳　賀　孝　太
班　　長	金　澤　英　樹	団　　員	山　田　大　地
団　　員	能　登　章　吾	団　　員	斉　藤　修　吾
団　　員	吉　國　雄　希	団　　員	紅　屋　　樹
団　　員	渡　辺　　駿	団　　員	横　山　友　輝

小平分団臼谷班

階級	氏名	階級	氏名
副分団長	山田　悟	団員	岸良雄太
部長	大滝英治	団員	黒澤隼人
部長	阿部喜三男	団員	山田規博
部長	山田信彦	団員	山田康則
班長	林　大介	団員	工藤陽義
班長	山田孝宏	団員	林　泰聖
班長	相馬智幸	団員	岸良将平
班長	酒谷康司	団員	鳥山祐弥
団員	山田朋彦	団員	相馬友揮

小平分団本郷班

階級	氏名	階級	氏名
副分団長	佐々木隆広	団員	小林寛樹
部長	山崎宏悦	団員	山口洋介
部長	近江法輝	団員	佐々木優一
班長	村口博章	団員	髙野皓之
班長	伊藤義範	団員	田中智史
班長	中嶋　渉	団員	中島健佑
班長	加藤健史	団員	田中啓之

小平分団達布班

階級	氏名	階級	氏名
副分団長	安田幸浩	班長	中井森男
部長	西方順一	班長	炭谷郁弥
部長	川西敏明	団員	安田一真
班長	上小倉匡剛	団員	前崎元気

小平分団寧楽班

階級	氏名	階級	氏名
部長	岡英昭	団員	平川拓矢
部長	鍋澤敦史	団員	髙野真平
班長	長岡翼	団員	岡和生
班長	村山博行	団員	山本靖浩
班長	福澤雄幸		

鬼鹿分団

分団長

嶋　本　直　幸

階　級	氏　　名	階　級	氏　　名
副分団長	古　枝　　忠	団　　員	泉　原　慎　吾
部　　長	秋　山　英　史	団　　員	田　覚　一　喬
部　　長	松　山　洋　介	団　　員	藤　田　卓　也
部　　長	赤　坂　昌　也	団　　員	中　村　　晋
班　　長	村　井　　薫	団　　員	野　原　友　平
班　　長	伊　藤　弘　明	団　　員	和　島　直　人
班　　長	角　谷　博　騎	団　　員	山　内　亮　一
班　　長	三　浦　敏　章	団　　員	加　藤　耕　太
班　　長	竹　中　一　博	団　　員	松　原　朋　央
団　　員	西　村　健　一	団　　員	三　浦　嘉　文
団　　員	渡　辺　剛　樹	団　　員	久保田　和　弥
団　　員	川　森　直　樹	団　　員	畑　福　信　吾

歴代消防団長・副団長

留萌消防団

団長

氏名	就任期間
道　重雄	昭和49年4月1日 ～ 昭和63年10月14日
野原　忠治	昭和63年12月1日 ～ 平成9年3月31日
渋谷　和夫	平成9年4月1日 ～ 平成11年3月31日
岩谷　冨雄	平成11年4月1日 ～ 平成18年11月30日
飛島　弦二	平成18年12月1日 ～ 平成22年1月31日
田中　基	平成22年2月1日 ～ 平成28年3月31日
室田　博之	平成28年4月1日 ～ 令和4年3月31日
前田　義治	令和4年4月1日 ～ 現職

副団長

氏名	就任期間
古野三千治	昭和49年4月1日 ～ 昭和55年5月31日
阿部　右善	昭和49年4月1日 ～ 昭和55年3月31日
尾崎　一郎	昭和49年4月1日 ～ 昭和55年5月31日
山下　彰	昭和49年4月1日 ～ 昭和55年12月14日
木村　豊逸	昭和55年6月1日 ～ 昭和61年6月30日
石川　幸男	昭和61年7月1日 ～ 平成7年6月30日
渋谷　和夫	昭和64年1月1日 ～ 平成9年3月31日
相馬　隆介	平成7年3月15日 ～ 平成11年3月31日
岩谷　冨雄	平成9年4月8日 ～ 平成11年3月31日
島田　泰幸	平成11年4月6日 ～ 平成16年3月31日
飛島　弦二	平成12年4月1日 ～ 平成18年11月30日
大石　政雄	平成16年4月1日 ～ 平成21年6月30日
田中　基	平成18年4月1日 ～ 平成22年1月31日
若杉　光男	平成21年7月1日 ～ 平成28年3月31日
祐川　鉄夫	平成22年2月1日 ～ 平成24年3月31日
室田　博之	平成24年4月1日 ～ 平成28年3月31日
前田　義治	平成28年4月1日 ～ 令和4年3月31日
二本柳　貢	平成28年4月1日 ～ 平成30年9月30日
千葉　勝也	平成30年10月1日 ～ 現職

米倉　靖夫	令和4年4月1日　～　現　職

小平消防団

団長

氏名	就任期間
中原　厚	昭和49年4月1日　～　昭和56年11月30日
中嶋　秀男	昭和56年12月1日　～　昭和59年9月30日

副団長

氏名	就任期間
大滝　善次郎	昭和49年4月1日　～　昭和54年1月30日
岡田　定造	昭和49年4月1日　～　昭和56年7月15日
野崎　磯夫	昭和56年7月15日　～　昭和59年9月30日
菅野　幸雄	昭和56年7月15日　～　昭和59年9月30日

鬼鹿消防団

団長

氏名	就任期間
神田　徳次郎	昭和49年4月1日　～　昭和59年9月30日

副団長

氏名	就任期間
門脇　勇	昭和49年4月1日　～　昭和52年6月30日
川村　久太郎	昭和49年4月1日　～　昭和59年3月31日
越後谷　勝吉	昭和49年4月1日　～　昭和59年4月3日
加藤　正明	昭和59年4月1日　～　昭和59年9月30日
合羽井　謙太郎	昭和59年6月1日　～　昭和59年9月30日

昭和59年10月1日　小平消防団と鬼鹿消防団が統合「小平消防団」に改組

小平消防団

団 長

氏　名	就　任　期　間
神田　徳次郎	昭和59年10月1日　～　平成4年4月9日
菅野　幸雄	平成4年4月10日　～　平成11年3月31日
佐藤　善美	平成11年4月1日　～　平成16年3月31日
新名　清二	平成16年4月1日　～　平成18年3月31日
五十嵐　正孝	平成18年4月1日　～　平成22年3月31日
土佐　誠一	平成22年4月1日　～　平成24年3月31日
酒谷　　貢	平成24年4月1日　～　令和2年3月31日
近江　基輝	令和2年4月1日　～　現　　職

副団長

氏　名	就　任　期　間
野崎　磯夫	昭和59年10月1日　～　昭和62年7月31日
菅野　幸雄	昭和59年10月1日　～　平成4年4月9日
加藤　正昭	昭和59年10月1日　～　平成4年10月9日
合羽井　謙太郎	昭和59年10月1日　～　平成4年4月11日
佐藤　善美	昭和63年9月1日　～　平成11年3月31日
佐々木　文雄	平成4年4月1日　～　平成13年11月30日
吉田　　秋	平成4年11月11日　～　平成13年11月30日
新名　清二	平成13年12月1日　～　平成16年3月31日
竹中　捷明	平成13年12月1日　～　平成16年3月31日
五十嵐　正孝	平成16年4月1日　～　平成18年3月31日
土佐　誠一	平成16年4月1日　～　平成22年3月31日
酒谷　　貢	平成22年4月1日　～　平成24年3月31日
角谷　博美	平成22年4月1日　～　平成26年3月31日
山口　晴己	平成24年4月1日　～　平成27年3月31日
近江　基輝	平成26年4月1日　～　令和2年3月31日
斉藤　慶一	平成27年4月1日　～　平成28年7月18日
長岡　勇起夫	平成29年4月1日　～　令和3年3月31日
石黒　義徳	令和2年4月1日　～　現　　職
中嶋　博之	令和3年4月1日　～　現　　職

消防庁舎・消防団詰所

消防車両

消防庁舎・分団詰所一覧

名　称	所在地	構　造	面積(㎡)	建築年月	備　考
留萌消防組合 消防本部 留萌消防署庁舎	留萌市高砂町３丁目 ６番１１号	鉄筋コンクリート ２階建	1,778.52	H27.10.31	H27.11.17 運用開始
留萌消防団 港町ｺﾐｭﾆﾃｨ消防ｾﾝﾀｰ	留萌市港町２丁目	木造不燃塗装板 ２階建	183.60	H6.11	留萌消防団 第１分団
留萌消防団 留萌消防会館	留萌市末広町４丁目	木造不燃塗装板 ２階建	262.44	H1.12	留萌消防団 第２分団
留萌消防団 港北ｺﾐｭﾆﾃｨ消防ｾﾝﾀｰ	留萌市元町５丁目	木造不燃塗装板 ２階建	157.14	H5.10	留萌消防団 港北分団
留萌消防団 沖見ｺﾐｭﾆﾃｨ消防ｾﾝﾀｰ	留萌市沖見町３丁目	木造不燃塗装板 ２階建	187.23	H11.12	留萌消防団 港西分団
留萌消防団 南町ｺﾐｭﾆﾃｨ消防ｾﾝﾀｰ	留萌市南町４丁目	木造不燃塗装板 平屋建	148.38	H1.12	留萌消防団 港東分団
留萌消防団 幌糠分団詰所	留萌市幌糠町 （幌糠農業・農村支援センター内）	鉄筋コンクリート ２階建	84.00 (2，659.55)	S62.12	留萌消防団 幌糠分団
三泊ｺﾐｭﾆﾃｨ消防ｾﾝﾀｰ	留萌市三泊町	木造不燃塗装板 平屋建	73.71	S62.12	
藤山ｺﾐｭﾆﾃｨ消防ｾﾝﾀｰ	留萌市藤山町	木造不燃塗装板 平屋建	73.71	H2.10	
留萌消防組合 小平消防署庁舎	小平町字小平町 ３９７－９	鉄骨造　２階建 一部平屋建	520.50	S55.12	小平消防団本部 小平分団
留萌消防組合 小平消防署 鬼鹿支署庁舎	小平町字鬼鹿港町 ２５－１３８	鉄骨造　２階建 一部平屋建	414.68	S57.11	小平消防団 鬼鹿分団
小平消防団小平分団 臼谷班器具置場	小平町字臼谷 ２４－１	木造ＡＬＣ張 平屋建	68.04	S57.10	小平消防団 小平分団臼谷班
小平消防団小平分団 本郷班器具置場	小平町字本郷 ６５－２	木造ＡＬＣ張 平屋建	79.38	S56.10	小平消防団 小平分団本郷班
小平消防団小平分団 寧楽班器具置場	小平町字寧楽 ９３－２１	木造防火ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ張 平屋建	63.18	H7.11	小平消防団 小平分団寧楽班
小平消防団小平分団 達布班器具置場	小平町字達布３１０	鉄骨造　２階建 一部平屋建	294.84	S59.10	小平消防団 小平分団達布班
留萌消防組合 小平消防署 鬼鹿支署豊浜資材庫	小平町字鬼鹿豊浜 ３２－１	木造防火ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ張 平屋建	19.44	S56.9	旧豊浜器具置場

（令和６年１２月３１日現在）

消 防 車 両 の 現 況 そ の １（消 防 車 の 配 備）

諸元／管轄	配置先		種別	車両名	車両番号	登録年度	製造	機械馬力（ＨＰ）
留萌市	留萌消防署		水槽付ポンプ車	水槽車１０号	旭川　８００ は　１５７２	２０１３年	日野	２３０
			水槽付ポンプ車	水槽車１１号	旭川　８００ は　２２８５	２０１９年	日野	２４０
			化学車	化学車４号	旭川　　８８ た　　１５３	１９８８年	日野	２７０
			化学車	化学車５号	旭川　８００ は　１４８８	２０１２年	日野	２１９
			救助車	救助工作車	旭川　８００ は　２１７１	２０１８年	日野	２３０
			梯子車	梯子車	旭川　　８８ た　　７００	１９９１年	日産	２３５
	留萌消防団	第１分団	ポンプ車	注水１１号	旭川　　８８ そ　　９２９	１９９０年	三菱	１６０
		第２分団	水槽付ポンプ車	留　萌　号	旭川　　８８ そ　　５４０	１９８９年	いすず	１２０
		港北分団	ポンプ車	注水１３号	旭川　８００ さ　　３５４	１９９９年	三菱	１５５
		港西分団	小型ポンプ積載車	港西積載車	旭川　　８８ そ　４８０１	１９９７年	日産	８５
		港東分団	ポンプ車	注水１２号	旭川　　８８ そ　３７５６	１９９６年	三菱	１２０
		幌糠分団	小型ポンプ積載車	幌糠積載車	旭川　　８８ そ　４２１８	１９９６年	日産	８５
小平町	小平消防署		水槽付ポンプ車	小平１号車	旭川　８００ は　１９０３	２０１６年	日野	３３０（ＰＳ）
			大型水槽車	小平２号車	旭川　８３０ ま　　１１９	２００２年	日野	３９０
	鬼鹿支署		大型水槽車	鬼鹿２号車	旭川　８３１ り　　１１９	２００７年	日野	３９０
	小平消防団	小平分団	水槽付ポンプ車	小平６号車	旭川　　８８ た　　７４６	１９９２年	日野	１４５
		小平分団小平班	小型ポンプ積載車	小平積載車	旭川　　８８ そ　　５９６	１９８９年	トヨタ	１０５
		小平分団臼谷班	小型ポンプ積載車	臼谷積載車	旭川　　８８ そ　２２３１	１９９３年	トヨタ	９１
		小平分団本郷班	小型ポンプ積載車	本郷積載車	旭川　　８８ そ　３５３７	１９９５年	トヨタ	９１
		小平分団寧楽班	小型ポンプ積載車	寧楽積載車	旭川　　８８ そ　５６３０	１９９８年	トヨタ	９１
		小平分団達布班	小型ポンプ積載車	達布積載車	旭川　８００ さ　７０５１	２０１１年	トヨタ	９１（ＰＳ）
		鬼鹿分団	水槽付ポンプ車	鬼鹿６号車	旭川　８３０ さ　１２１４	２０１６年	日野	３３０（ＰＳ）
			小型ポンプ積載車	鬼鹿積載車	旭川　　８８ そ　４２０５	１９９６年	トヨタ	９１

燃　料	総排気量（ＣＣ）	ポ ン プ 型 式	ポンプ級　別	積載水量（ℓ）	放 水 量（ℓ/min）	備　　考
軽　油	7,680	日機Ｒ３Ｆ型 ２段バランスタービン	Ａ－２	2,000	2,270	ＣＡＦＳ搭載
軽　油	5,123	古谷Ｆ３３Ａ型 ２段バランスタービン	Ａ－２	2,000	2,590	
軽　油	13,260	日機Ｒ３Ｆ型 ２段バランスタービン	Ａ－２	3,000	2,270	
軽　油	6,400	日機Ｒ３型 ２段バランスタービン	Ａ－２	2,000	2,232	
軽　油	7,680	**********	***	*****	***	2.9t級クレーン 大型照明搭載
軽　油	12,500	**********	***	*****	***	３５m級はしご車
軽　油	4,210	日機Ｒ３型 ２段バランスタービン	Ａ－２	*****	2,130	
軽　油	6,490	森田式 高圧バランスタービン	Ａ－１	2,000	2,850	
軽　油	5,240	日機Ｒ３型 ２段バランスタービン	Ａ－１	*****	2,800	
軽　油	3,150	芝浦ＴＦ－６４０	Ｂ－３	*****	1,200	日産ホーミー 小型ポンプ積載車両
軽　油	4,560	森田ＭＥ－３Ａ	Ａ－２	*****	2,070	
軽　油	2,660	芝浦ＴＦ－３５ＭＥＤ	Ｂ－３	*****	1,200	日産ホーミー 小型ポンプ積載車両
軽　油	8,860	日機Ｒ３型 ２段バランスタービン	Ａ－２	3,000	2,350	ＣＡＦＳ搭載
軽　油	20,780	芝浦ＳＦ６５６ＭＧ	Ｂ－３	10,000	1,260	
軽　油	8,860	トーハツＶＣ４２ＡＳ	Ｂ－３	10,000	1,260	
軽　油	7,410	日機Ｒ３型 ２段バランスタービン	Ａ－２	2,000	2,270	
軽　油	3,980	芝浦ＳＦ７５６ＺＸｉ	Ｂ－２	*****	1,290	トヨタランドクルーザー 小型ポンプ積載車両
軽　油	2,770	芝浦ＴＦ－３５ＭＥＳ	Ｂ－３	*****	1,000	トヨタハイエース 小型ポンプ積載車両
軽　油	2,770	芝浦ＴＦ－３５ＭＥＳ	Ｂ－３	*****	1,200	トヨタハイエース 小型ポンプ積載車両
軽　油	2,770	芝浦ＴＦ７４５ＭＨ(SH)	Ｂ－３	*****	1,100	トヨタハイエース 小型ポンプ積載車両
ガソリン	2,690	芝浦ＴＦ－３５ＭＥＳ	Ｂ－３	*****	1,200	トヨタハイエース 小型ポンプ積載車両
軽　油	8,860	日機Ｒ３型 ２段バランスタービン	Ａ－２	3,000	2,350	ＣＡＦＳ搭載
軽　油	2,770	芝浦ＴＦ－３５ＭＥＳ	Ｂ－３	*****	1,200	トヨタハイエース 小型ポンプ積載車両

（令和６年１２月３１日現在）

消 防 車 両 の 現 況 そ の ２（救急車、その他の車両）

諸元／管轄	配置先	車 両 名	車 両 番 号	登録年度	製 造／型 式	機械馬力（ＨＰ）	燃 料／総排気量	備 考
留萌市	留萌消防署	留萌救急１	旭川 ８００ す ７８８	２０２０ 年	トヨタ ハイメディック	１５１	ガソリン 2,690	
		留萌救急２	旭川 ８３０ さ １３１０	２０１３ 年	トヨタ ハイメディック	１５１	ガソリン 2,690	救急二次用
		留萌救急３	旭川 ８３２ な １１９	２０１０ 年	トヨタ ハイメディック	１５１	ガソリン 2,690	救急三次用 転院搬送用
		司 令 車	旭川 ８００ さ ６２３２	２００９ 年	三 菱 パジェロ	１８５	ガソリン 2,970	指揮隊運用車
		司令２号	旭川 ８００ す １１９５	２０２２ 年	トヨタ ノア	１５２	ガソリン 1,980	
		司令３号	旭川 ８８ そ １８１２	１９９３ 年	トヨタ ランドクルーザー	１３５	軽 油 4,160	
		防災広報車	旭川 ８８ そ １４３２	１９９２ 年	トヨタ ハイエース	８５	軽 油 2,770	小型ポンプ 積載車両
		防災指導車	旭川 ８８ そ ２４１５	１９９４ 年	トヨタ ハイエース	９０	軽 油 2,770	火災調査用
		資器材搬送車	旭川 ８００ す ２０８０	２０２４ 年	トヨタ ダイナ	１４８	軽 油 4,000	積載量2.0t
		マイクロバス	旭川 ２２ せ ８０７	１９９４ 年	三 菱 ローザ	１３０	軽 油 4,210	最大乗車定員 ２６名
		タイヤショベル	旭川 ０００ る ８１４０	２０２４ 年	日立 ＹＤＰ－Ｈ８７	９９	軽 油 3,620	定員２名
		連 絡 車	旭川 ５８０ す ４５９０	２０１４ 年	三 菱 ｅＫワゴン	５０	ガソリン 650	
小平町	小平消防署	小平５号車	旭川 ８００ す １７５	２０１９ 年	トヨタ ハイメディック	１５１	ガソリン 2,693	高規格救急車
		小平指令車	旭川 ８００ さ １８７３	２０２４ 年	トヨタ ノ ア	１７０	ガソリン 1,980	
	鬼鹿支署	鬼鹿指令車	旭川 ８００ さ １３４７	２０００ 年	トヨタ カルディナ	９３	ガソリン 1,990	ＦＦ

（令和６年１２月３１日現在）

外 郭 団 体

消 防 関 係 団 体

留萌市消防後援会

会　　長	畠　山　　博
副 会 長	堀　松　和　彦
副 会 長	佐　藤　太　紀

会 員 86 事業所

留萌危険物安全協会

会　　長	澤　井　篤　司
副 会 長	石　黒　朋　幸
副 会 長	住　吉　　勉

会 員 6 部会 43 事業所

留萌地区防火管理者連絡協議会

会　　長	西　谷　英　樹
副 会 長	森　本　隆　志
副 会 長	石　黒　真喜子

会 員 4 部会 90 名

留萌地区少年婦人防火委員会

留萌地区少年婦人防火委員会	会長	菅原　憲一	
小平婦人防火クラブ	会長	高橋　悦子	クラブ員　14　名
鬼鹿婦人防火クラブ	会長	三浦　寿子	クラブ員　6　名
留萌少年消防クラブ	幹事長	菅原　憲一	クラブ員　17　名
小平少年消防クラブ	幹事長	稲垣　充	クラブ員　23　名
鬼鹿少年消防クラブ	幹事長	古枝　忠	クラブ員　14　名
みその幼年消防クラブ	代表	大長　司	クラブ員　68　名
沖見幼年消防クラブ	代表	永井美幸	クラブ員　116　名
みどり幼年消防クラブ	代表	竹内美和	クラブ員　131　名
かもめ幼年消防クラブ	代表	福士恵理子	クラブ員　58　名
小平幼年消防クラブ	代表	木内裕子	クラブ員　33　名
鬼鹿幼年消防クラブ	代表	木内裕子	クラブ員　13　名

表　　彰

顕彰・褒章・叙位・叙勲・消防庁長官表彰

消防の職に殉じられた菅原団員をはじめ、多くの職団員の方々が消防功労をもって褒章、叙勲、長官表彰を受けられた。

殉職者顕彰

菅 原 俊 雄

昭和57年5月19日午後9時20分頃、留萌市礼受町の山上にある「ホテル千望閣」より出火した火災に出動途中、脳梗塞発作により倒れ救急車により留萌市立病院に搬送されたが、そのまま意識を回復することなく同年5月23日死亡、原因は急激な運動による脳梗塞発作によるものと診断された。
菅原団員は、火災の状況や規模が異例であったため自己の体力の限界を越えた過激な活動により倒れ殉職した。

褒　章

褒章内容	受章年月日	受章時の所属・職名	氏名
藍綬褒章	昭和55年4月29日	鬼鹿消防団団長	神田 徳次郎

叙　位

叙位内容	受章年月日	備考	氏名
従六位	平成7年12月4日	平成7年12月4日死去	神田 徳次郎

叙　勲（消防功労）

叙勲内容	受章年月日	受章時の所属・職名	氏名
勲6等瑞宝章	昭和50年4月29日	元消防本部消防司令長	佐藤 幸一
勲5等双光旭日章	昭和52年4月29日	元小平消防団団長	中原 厚
勲7等瑞宝章	昭和52年11月3日	元留萌消防団部長	神田 喜久男
勲6等単光旭日章	昭和53年4月29日	元小平消防団副団長	大滝 善次郎
勲6等単光旭日章	昭和53年4月29日	元小平消防団副団長	門脇 勇
勲6等瑞宝章	昭和54年4月29日	元留萌消防団分団長	塩泡 勇
勲7等瑞宝章	昭和55年4月29日	元留萌消防団部長	熊谷 俊男
勲7等青色桐葉章	昭和55年11月3日	元留萌消防団部長	長谷川 勇
勲6等瑞宝章	昭和56年11月3日	元鬼鹿消防団副分団長	本間 治作
勲6等瑞宝章	昭和57年4月29日	元留萌消防団副分団長	成田 勝己
勲6等単光旭日章	昭和57年11月3日	元小平消防団副団長	岡田 定三
勲6等瑞宝章	昭和57年11月3日	元鬼鹿消防団副分団長	椿 敏正
勲6等単光旭日章	昭和58年4月29日	元小平消防団団長	中嶋 秀男
勲7等青色桐葉章	昭和58年4月29日	元留萌消防団部長	北 秋二郎
勲6等瑞宝章	昭和58年11月3日	元留萌消防団分団長	伊勢田 萩松
勲7等青色桐葉章	昭和60年4月29日	元消防本部消防司令補	和島 富五郎
勲7等青色桐葉章	昭和61年4月29日	元消防本部消防司令補	松本 勇
勲6等単光旭日章	昭和62年4月29日	元留萌消防団副団長	木村 豊逸
勲6等瑞宝章	昭和62年11月3日	元留萌消防団分団長	濱谷 隆太郎

勲6等単光旭日章	平成1年11月3日	元消防本部消防司令長	河田　静三
勲6等瑞宝章	平成3年11月3日	元小平消防団分団長	酒井　幸雄
勲5等瑞宝章	平成4年4月29日	元小平消防団団長	神田　徳次郎
勲6等単光旭日章	平成4年10月9日	元小平消防団副団長	加藤　正明
勲6等瑞宝章	平成5年4月29日	元留萌消防団分団長	能登　春雄
勲6等瑞宝章	平成6年4月29日	元小平消防団副分団長	桶川　利貞
勲6等単光旭日章	平成8年4月29日	元小平消防団副団長	合羽井　謙太郎
勲6等瑞宝章	平成11年4月29日	元小平消防団分団長	三口　昇
勲6等単光旭日章	平成13年11月3日	元留萌消防団副団長	相馬　隆介
勲5等瑞宝章	平成14年4月29日	元小平消防団団長	菅野　幸雄
勲5等瑞宝章	平成15年5月8日	元留萌消防団副団長	石川　幸男
瑞宝双光章	平成15年11月3日	元小平消防団副団長	佐々木　文雄
瑞宝単光章	平成16年4月29日	元消防本部消防司令長	小松　克己
瑞宝単光章	平成17年4月29日	元留萌消防団副団長	街道　信義
瑞宝単光章	平成17年11月3日	元消防本部消防司令	徳光　鶴次
瑞宝単光章	平成17年11月3日	元消防本部消防司令補	加藤　力男
瑞宝単光章	平成18年4月29日	元小平消防団副団長	吉田　秋
瑞宝単光章	平成18年6月1日	元小平消防団部長	曽我部　孝雄
瑞宝単光章	平成18年11月3日	元消防本部消防司令	高松　憲雄
瑞宝双光章	平成19年11月3日	元小平消防団団長	佐藤　善美
瑞宝単光章	平成21年11月3日	元小平消防団分団長	飯田　信昭
瑞宝双光章	平成23年4月29日	元消防本部消防監	松下　功
瑞宝単光章	平成24年4月29日	元留萌消防団団長	岩谷　冨雄
瑞宝単光章	平成25年11月3日	元小平消防団団長	五十嵐　正孝
瑞宝単光章	平成26年3月1日	元小平消防団分団長	山内　祐司
瑞宝単光章	平成26年4月29日	元留萌消防団団長	飛島　弦二
瑞宝単光章	平成26年11月3日	元小平消防団団長	土佐　誠一
瑞宝単光章	平成26年11月3日	元留萌消防団副団長	島田　恭幸
瑞宝単光章	平成27年6月1日	元小平消防団副分団長	山田　一雄
瑞宝単光章	平成27年11月3日	元小平消防団副団長	岡野　政弘
瑞宝単光章	平成28年4月29日	元小平消防団副団長	角谷　博美
瑞宝単光章	平成28年11月3日	元小平消防団副団長	山口　晴己
瑞宝双光章	平成29年4月29日	元留萌消防団団長	田中　基
瑞宝単光章	平成29年9月1日	元小平消防団副分団長	曽我部　原治
瑞宝単光章	平成29年11月1日	元小平消防団副分団長	新谷　幸男
瑞宝単光章	令和元年11月3日	元留萌消防団副団長	若杉　光男
瑞宝単光章	令和元年11月3日	元留萌消防組合消防司令	和田　孝
瑞宝単光章	令和4年4月29日	元小平消防団分団長	丸山　里司
瑞宝単光章	令和4年11月3日	元小平消防団副団長	長岡　勇紀夫
瑞宝双光章	令和5年4月29日	元留萌消防組合消防司令長	中路　和也
瑞宝双光章	令和5年4月29日	元留萌消防団団長	室田　博之
瑞宝単光章	令和5年11月3日	元留萌消防組合消防司令	畑田　等
瑞宝単光章	令和6年4月29日	元留萌消防組合消防司令	横関　哲雄

瑞宝単光章	令和6年11月3日	元留萌消防団分団長	今野　義幸

消防庁長官表彰

表彰内容	受賞年月日	受賞時の所属・職名	氏名
永年勤続功労賞	昭和50年3月4日	留萌消防署消防士長	松本　勇
永年勤続功労賞	昭和51年3月4日	留萌消防団分団長	塩泡　勇
永年勤続功労賞	昭和52年3月4日	留萌消防署署長	河田　静三
永年勤続功労賞	昭和53年3月4日	留萌消防団部長	熊谷　俊男
功労賞	昭和54年3月5日	鬼鹿消防団団長	神田　徳次郎
功労賞	昭和55年3月5日	留萌消防団団長	道　重雄
功労賞	昭和55年3月5日	小平消防団団長	中嶋　秀男
永年勤続功労賞	昭和55年3月5日	鬼鹿消防団副分団長	椿　敏正
功労賞	昭和56年3月4日	小平消防団副団長	岡田　定三
永年勤続功労賞	昭和56年3月4日	留萌消防団副分団長	成田　勝己
永年勤続功労賞	昭和56年3月4日	消防本部消防長	北村　茂
永年勤続功労賞	昭和57年3月3日	留萌消防団部長	北　秋二郎
永年勤続功労賞	昭和58年3月3日	小平消防団分団長	濱崎　幸次郎
永年勤続功労賞	昭和58年3月3日	留萌消防署消防司令	玉井　貢
永年勤続功労賞	昭和59年3月9日	消防本部次長	木村　久男
永年勤続功労賞	昭和60年3月6日	留萌消防署消防司令	加藤　隆夫
永年勤続功労賞	昭和60年3月6日	留萌消防団分団長	濱谷　隆太郎
永年勤続功労賞	昭和60年3月6日	小平消防団分団長	酒井　幸雄
永年勤続功労賞	昭和61年3月5日	留萌消防署消防司令	徳光　鶴次
永年勤続功労賞	昭和61年3月5日	留萌消防団副団長	木村　豊逸
永年勤続功労賞	昭和61年3月5日	小平消防団副団長	合羽井　謙太郎
永年勤続功労賞	昭和62年3月4日	留萌消防署消防司令補	加藤　力男
永年勤続功労賞	昭和62年3月4日	留萌消防団分団長	能登　春雄
永年勤続功労賞	昭和63年3月9日	留萌消防団副団長	石川　幸男
永年勤続功労賞	昭和63年3月9日	小平消防団副団長	桶川　利貞
永年勤続功労賞	平成1年3月6日	留萌消防団分団長	柄本　甚吉
永年勤続功労賞	平成1年3月6日	小平消防団副分団長	三口　昇
永年勤続功労賞	平成2年3月8日	留萌消防団分団長	川上　利雄
永年勤続功労賞	平成3年3月6日	留萌消防団副団長	渋谷　和夫
永年勤続功労賞	平成3年3月6日	小平消防団副団長	加藤　正明
永年勤続功労賞	平成3年3月6日	消防本部次長	小松　克己
永年勤続功労賞	平成4年3月4日	消防本部消防長	松下　功
永年勤続功労賞	平成4年3月4日	留萌消防団分団長	相馬　隆介
永年勤続功労賞	平成5年3月3日	小平消防団団長	菅野　幸雄
永年勤続功労賞	平成6年3月2日	小平消防団副団長	佐藤　善美
永年勤続功労賞	平成7年3月3日	小平消防団副団長	佐々木　文雄
永年勤続功労賞	平成9年3月5日	留萌消防団団長	野原　忠治
永年勤続功労賞	平成10年3月7日	留萌消防団副団長	街道　信義

永年勤続功労賞	平成10年3月7日	消防本部消防司令	高松　憲雄
永年勤続功労賞	平成11年3月5日	消防本部消防長	西谷　幸吉
永年勤続功労賞	平成11年3月5日	小平消防団副団長	吉田　　秋
永年勤続功労賞	平成12年3月8日	留萌消防団団長	岩谷　冨雄
永年勤続功労賞	平成12年3月8日	留萌消防署署長	大塚　武弥
永年勤続功労賞	平成13年3月8日	留萌消防団副団長	島田　泰幸
永年勤続功労賞	平成13年3月8日	小平消防団分団長	新名　清二
永年勤続功労賞	平成15年3月5日	小平消防団分団長	飯田　信昭
永年勤続功労賞	平成18年3月3日	小平消防団副団長	五十嵐　正孝
永年勤続功労賞	平成18年3月3日	小平消防団副団長	土佐　誠一
永年勤続功労賞	平成19年3月2日	留萌消防団団長	飛島　弦二
永年勤続功労賞	平成19年3月2日	留萌消防団副団長	大石　政雄
永年勤続功労賞	平成21年3月6日	留萌消防団副団長	田中　　基
永年勤続功労賞	平成22年3月5日	小平消防団分団長	酒谷　　貢
永年勤続功労賞	平成23年3月3日	小平支署支署長	和田　　孝
永年勤続功労賞	平成23年3月3日	小平消防団副団長	角谷　博美
永年勤続功労賞	平成23年3月3日	留萌消防団副団長	若杉　光男
永年勤続功労賞	平成24年3月8日	留萌消防団副団長	祐川　鉄夫
永年勤続功労賞	平成25年3月6日	留萌消防団副団長	室田　博之
永年勤続功労賞	平成25年3月6日	小平消防団副団長	山口　晴己
永年勤続功労賞	平成26年3月5日	小平消防団分団長	近江　基輝
永年勤続功労賞	平成27年3月6日	留萌消防団分団長	二本柳　　貢
永年勤続功労賞	平成28年3月9日	留萌消防団分団長	今野　義幸
永年勤続功労賞	平成28年3月9日	小平消防団分団長	長岡　勇紀夫
永年勤続功労賞	平成29年3月8日	消防本部消防長	中路　和也
永年勤続功労賞	平成30年3月7日	留萌消防署署長	畑田　　等
永年勤続功労賞	平成31年3月6日	小平消防団分団長	丸山　里司
永年勤続功労賞	令和2年3月4日	留萌消防団分団長	深瀬　則昭
永年勤続功労賞	令和3年3月10日	留萌消防団副団長	前田　義治
永年勤続功労賞	令和4年3月2日	消防本部消防長	梅澤　卓也
永年勤続功労賞	令和4年3月2日	留萌消防団分団長	松倉　邦夫
永年勤続功労賞	令和5年3月10日	留萌消防団分団長	三浦　和泰
永年勤続功労賞	令和5年3月10日	小平消防団副団長	石黒　義徳
永年勤続功労賞	令和6年3月4日	小平消防団副団長	中嶋　博之

表彰旗及び竿頭綬等

留　萌　消　防　団

表彰機関名	表彰内容	受章年月	表彰種別
北海道庁長官	御親閲記念	昭和１１年１０月	竿頭綬
北海道庁長官	御親閲記念	昭和１７年７月	竿頭綬
財団法人日本消防協会	消防功労賞	昭和２５年度	表彰旗
財団法人日本消防協会	消防功労賞	昭和２５年度	竿頭綬
北海道知事	災害警防功労賞	昭和２６年１１月	竿頭綬
北海道知事	北海道消防総合訓練大会優秀賞	昭和２９年度	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和２９年 第１回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３０年 第２回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３１年 第３回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３２年 第４回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３３年 第５回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３４年 第６回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３５年 第７回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３６年 第８回	竿頭綬
北海道知事	消防功労表彰	昭和４０年度	竿頭綬
北海道知事	御親閲記念 自治消防20年・北海道100年記念 北海道消防大会	昭和４３年９月	竿頭綬
北海道知事	北海道消防操法訓練大会優秀賞	昭和４７年８月	竿頭綬
北海道知事	北海道消防操法訓練大会優秀賞	昭和５７年８月	竿頭綬
財団法人北海道消防協会	集中豪雨災害活動功労	昭和６３年度	竿頭綬
建設大臣	水防功労表彰記念	昭和６３年１１月	竿頭綬
内閣総理大臣	防災功労表彰記念	平成元年９月	竿頭綬
北海道知事	消防功労表彰	平成元年度	竿頭綬
北海道知事	北海道消防操法訓練大会優秀賞	平成６年度	竿頭綬
消防庁長官	消防功労表彰	平成１８年度	竿頭綬
財団法人北海道消防協会	優良消防団表彰	平成２１年度	表彰旗
消防庁長官	消防功労表彰	平成２５年度	表彰旗
全国水防管理団体連合会	水防功労者表彰	平成３１年４月	表彰状

小 平 消 防 団

表彰機関名	表彰内容	受章年月	表彰種別
北海道庁長官	御親閲記念	昭和１１年１０月	竿頭綬
北海道庁長官	御親閲記念	昭和１７年７月	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和２９年 第１回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３０年 第２回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３１年 第３回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３２年 第４回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３３年 第５回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３４年 第６回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３５年 第７回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３６年 第８回	竿頭綬
北海道知事	消防表彰	昭和４２年度	表彰旗
北海道知事	御親閲記念 自治消防20年・北海道100年記念 北海道消防大会	昭和４３年９月	竿頭綬
北海道知事	北海道消防操法訓練大会優秀賞	昭和５０年度	竿頭綬
北海道知事	消防功労表彰	昭和５５年度	表彰旗
	（小平消防団・鬼鹿消防団統合）		
北海道知事	北海道消防操法訓練大会優秀賞	昭和６０年度	竿頭綬
北海道知事	北海道消防操法訓練大会準優勝	平成１１年度	竿頭綬
消防庁長官	消防功労表彰	平成２１年度	竿頭綬
北海道知事	北海道消防操法訓練大会優勝	平成２３年度	竿頭綬
公益財団法人北海道消防協会	優良消防団表彰	平成２７年度	表彰旗
公益財団法人日本消防協会	優良消防団表彰	平成２７年度	表彰旗
消防庁長官	消防功労表彰	平成２８年度	表彰旗

鬼 鹿 消 防 団

表彰機関名	表彰内容	受章年月	表彰種別
北海道庁長官	御親閲記念	昭和１１年１０月	竿頭綬
北海道庁長官	御親閲記念	昭和１７年７月	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和２９年 第１回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３０年 第２回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３１年 第３回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３２年 第４回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３３年 第５回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３４年 第６回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３５年 第７回	竿頭綬
留萌支庁消防団長会	管内消防訓練優秀賞	昭和３６年 第８回	竿頭綬
北海道知事	御親閲記念 自治消防20年・北海道100年記念 北海道消防大会	昭和４３年９月	竿頭綬
財団法人北海道消防協会	無火災表彰	昭和４９年度	竿頭綬
北海道	優良消防団表彰	昭和５０年度	竿頭綬
財団法人北海道消防協会	北海道消防協会表彰	昭和５５年度	表彰旗

（小平消防団・鬼鹿消防団統合）

少年消防優良クラブ等表彰

消防庁長官表彰（優良少年消防クラブ）

表彰内容	受賞年月日	j受賞団体	備考
昭和59年度 優良少年消防クラブ	昭和60年3月29日	小平少年消防クラブ	記念品授与
昭和60年度 優良少年消防クラブ	昭和61年3月28日	留萌少年消防クラブ	記念品授与
昭和61年度 優良少年消防クラブ	昭和62年3月26日	鬼鹿少年消防クラブ	記念品授与
平成元年度 優良少年消防クラブ	平成2年3月27日	留萌少年消防クラブ	表彰旗授与
平成3年度 優良少年消防クラブ	平成4年3月27日	小平少年消防クラブ	表彰旗授与
平成5年度 優良少年消防クラブ	平成6年3月25日	鬼鹿少年消防クラブ	表彰旗授与

消防庁長官表彰（優良少年消防クラブ指導者）

表彰内容	受賞年月日	j受賞者氏名	備考
昭和62年度 優良少年消防クラブ指導者	昭和63年3月29日	留萌少年消防クラブ 幹事　中西民夫	表彰状・記念品
昭和63年度 優良少年消防クラブ指導者	平成元年3月28日	小平少年消防クラブ 幹事長　吉田忠夫	表彰状・記念品
平成元年度 優良少年消防クラブ指導者	平成2年3月27日	留萌少年消防クラブ 幹事　行天紀恵子	表彰状・記念品
平成2年度 優良少年消防クラブ指導者	平成3年3月26日	留萌少年消防クラブ 幹事　中村幸雄	表彰状・記念品
平成3年度 優良少年消防クラブ指導者	平成4年3月27日	留萌少年消防クラブ 幹事　道添　優	表彰状・記念品
平成4年度 優良少年消防クラブ指導者	平成5年3月26日	鬼鹿少年消防クラブ 幹事　花田泰子	表彰状・記念品
平成5年度 優良少年消防クラブ指導者	平成6年3月25日	留萌少年消防クラブ 幹事長　高橋定弘	表彰状・記念品
平成9年度 優良少年消防クラブ指導者	平成10年3月26日	留萌少年消防クラブ 幹事　大坪　博	表彰状・記念品
平成13年度 優良少年消防クラブ指導者	平成14年3月26日	小平少年消防クラブ 幹事長　八百板昇一	表彰状・記念品

総務大臣表彰

表 彰 内 容	受 賞 年 月 日	j受 賞 者 氏 名	備　　考
令和2年度 優良少年消防クラブ指導者	令 和 3 年 3 月 20 日	留萌少年消防クラブ 幹事長　菅 原 憲 一 副幹事長 氏 原 由 香	表彰状・記念品

火 災 統 計

救 急 統 計

50年間の火災統計

昭和49年1月1日～昭和58年12月31日

区分＼年別		S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58
件　数		28	25	38	21	24	31	22	25	23	22
棟数	全　焼(棟)	5	9	13	9	4	4	8	5	3	6
	半　焼(棟)	5	7	2	2	3	5	2	2	3	4
	部分焼(棟)	11	10	23	16	14	17	14	13	12	10
焼損面積	㎡	789	2,889	2,641	1,871	1,169	862	1,143	684	3,529	1,326
	a	16	0	51	208	147	79	97	72	35	100
罹災世帯（世帯）		22	26	44	24	21	30	17	11	14	17
罹災人員（人）		65	81	98	78	62	90	49	41	48	45
死　者（人）		1	1	1	3	1	1	3	0	1	1
傷　者（人）		4	11	5	8	3	5	3	7	15	5
損害額（千円）		30,114	129,214	64,342	66,641	90,456	34,240	50,858	50,916	262,708	111,770

昭和59年1月1日～平成5年12月31日

区分＼年別		S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5
件　数		24	24	12	17	16	22	23	14	21	23
棟数	全　焼(棟)	6	4	2	7	2	4	4	6	1	3
	半　焼(棟)	2	2	2	3	7	4	0	4	3	3
	部分焼(棟)	14	13	4	9	8	10	12	7	9	15
焼損面積	㎡	1,466	1,138	488	1,558	722	1,048	1,345	719	311	1,173
	a	0	133	0	24	0	242	32	3	131	16
罹災世帯（世帯）		28	14	7	19	19	12	10	10	7	25
罹災人員（人）		64	46	24	71	58	35	35	24	17	62
死　者（人）		0	0	0	0	2	0	0	1	0	1
傷　者（人）		4	4	0	1	4	1	4	0	2	7
損害額（千円）		122,545	103,463	43,217	97,744	40,967	104,980	108,219	36,495	8,854	241,991

平成6年1月1日～平成15年12月31日

区分＼年別		H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
件　数		16	20	11	21	12	19	15	19	18	17
棟数	全　焼(棟)	5	5	1	1	0	2	1	1	2	3
	半　焼(棟)	2	1	2	1	0	3	0	3	0	0
	部分焼(棟)	5	2	3	5	5	0	6	5	4	2
	ぼ　や(棟)	0	5	3	4	4	7	2	4	5	3
焼損面積	㎡	519	1,480	220	281	154	665	245	575	380	207
	a	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
罹災世帯（世帯）		4	8	6	7	4	9	9	17	10	4
罹災人員（人）		14	25	29	21	7	24	22	45	23	7
死　者（人）		1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
傷　者（人）		1	5	0	3	1	1	1	5	4	0
損害額（千円）		53,596	61,102	12,249	28,156	8,990	58,827	36,439	50,604	73,601	9,430

平成16年1月1日～平成25年12月31日

区分＼年別		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
件　数		5	17	18	17	17	10	17	18	12	11
棟数	全　焼(棟)	2	7	3	1	2	1	4	4	2	2
	半　焼(棟)	0	0	1	2	1	2	1	0	1	2
	部分焼(棟)	0	4	9	7	2	0	5	8	3	1
	ぼ　や(棟)	3	2	2	3	4	5	6	3	4	3
焼損面積	㎡	1,380	1,115	547	359	299	220	472	484	495	235
	a	0	0	14	54	1	8	1	0	0	0
罹災世帯（世帯）		7	24	12	8	5	5	9	9	4	5
罹災人員（人）		18	35	26	14	10	10	17	18	8	7
死　者（人）		0	0	1	0	1	0	0	1	1	0
傷　者（人）		0	1	2	1	2	1	4	4	5	2
損害額（千円）		21,586	33,523	57,413	20,459	21,876	14,628	19,053	4,893	37,108	6,549

平成26年1月1日～令和5年12月31日

区分＼年別		H26	H27	H28	H29	H30	H31 R元	R2	R3	R4	R5
件　数		5	8	20	6	8	11	9	7	5	9
棟数	全　焼(棟)	1	2	4	0	2	6	3	1	0	3
	半　焼(棟)	1	1	2	2	0	0	0	0	0	2
	部分焼(棟)	0	1	2	3	2	4	1	1	1	1
	ぼ　や(棟)	3	6	10	0	6	2	1	3	0	3
焼損面積	㎡	192	135	599	119	571	542	278	114	242	485
	a	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
罹災世帯（世帯）		2	6	11	4	9	3	1	2	1	5
罹災人員（人）		3	12	28	10	16	6	1	4	1	6
死　者（人）		0	0	2	1	0	0	1	0	0	1
傷　者（人）		0	1	6	1	6	2	0	0	0	0
損害額（千円）		12,696	2,155	16,698	4,507	7,443	47,513	19,518	5,119	2,282	5,630

留萌市既往主要火災記録

出火年月日	出火場所	焼損程度
昭和50年7月8日	本町3丁目　家族風呂	全焼1棟 半焼1棟 1，054㎡72，718千円
昭和55年12月14日	本町3丁目　青果店	全焼1棟 378㎡ 死者3名
昭和57年5月19日	礼受町　ホテル	全焼1棟 1，933㎡ 129，768千円
昭和57年8月17日	大町2丁目　市営住宅	死者1名 傷者10名
昭和57年10月6日	住之江町2丁目　中学校	8教室全焼 体育館部分焼 1，118㎡ 66，612千円
昭和59年3月22日	栄町3丁目　スーパーマーケット	全焼1棟 663㎡ 86，521千円
昭和63年12月5日	藤山町18線　一般住宅	全焼1棟 181㎡ 死者2名 傷者1名
平成2年9月13日	瀬越町　総合娯楽施設	全焼1棟 984㎡ 58，545千円
平成3年4月11日	沖見町4丁目　福祉住宅	半焼1棟 45㎡ 死者1名
平成5年1月25日	大町3丁目　市営住宅	部分焼1棟 86㎡ 死者1名 傷者3名
平成5年8月11日	錦町1丁目　靴店	全焼1棟 半焼1棟 部分焼2棟 777㎡ 170，000千円
平成16年9月9日	本町4丁目　店舗併用住宅	全焼1棟 半焼1棟 部分焼3棟 497㎡ 19，880千円
平成18年1月30日	見晴町5丁目　一般住宅	全焼1棟 150㎡ 死者1名
平成20年10月12日	沖見町3丁目　一般住宅	全焼1棟 115㎡ 死者1名
平成29年6月15日	花園町1丁目　一般住宅	半焼1棟 33．6㎡ 死者1名

小平町既往主要火災記録

出火年月日	出火場所	焼損程度
昭和49年7月12日	小平町字冨里　一般住宅	全焼1棟 死者1名
昭和50年5月9日	小平町字本郷　一般住宅	全焼1棟 半焼1棟 部分焼1棟 死者1名
昭和50年7月6日	小平町字小平　割箸工場	全焼1棟 443㎡ 22，438千円
昭和58年12月1日	小平町字平和　一般住宅	全焼1棟 死者1名
平成17年5月6日	小平町字寧楽　共同住宅	全焼3棟 774㎡ 27，133千円

50年間の救急統計

昭和49年1月1日～昭和58年12月31日

年別 / 事故別	活動内容	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58
火災	出動件数	1	6	5	6	1	3	1	3	5	3
	搬送人員	2	9	2	8	1	2	0	3	12	2
自然災害	出動件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	出動件数	14	5	11	13	13	3	8	8	7	6
	搬送人員	16	5	10	9	5	2	7	8	6	6
交通事故	出動件数	54	79	69	85	99	87	100	103	113	118
	搬送人員	92	101	107	117	131	119	125	111	140	138
労働災害	出動件数	19	21	22	23	17	13	16	23	19	19
	搬送人員	19	22	21	22	19	12	15	26	19	18
運動競技	出動件数	30	33	28	22	17	9	13	13	18	19
	搬送人員	32	35	27	22	17	9	13	13	19	19
一般負傷	出動件数	48	57	79	103	119	88	119	108	116	118
	搬送人員	48	53	74	97	118	83	115	110	115	114
加害	出動件数	7	7	5	7	5	8	11	7	9	15
	搬送人員	7	8	6	9	5	7	9	7	7	13
自損行為	出動件数	2	4	13	7	13	9	10	7	11	6
	搬送人員	1	3	12	6	13	9	9	7	10	4
急病	出動件数	278	275	317	369	379	382	400	378	375	391
	搬送人員	255	257	303	350	355	355	370	359	362	371
その他	出動件数	27	69	71	102	115	98	122	199	137	121
	搬送人員	41	61	63	80	98	88	102	184	127	112
計	**出動件数**	**480**	**557**	**620**	**737**	**778**	**700**	**800**	**849**	**810**	**816**
	搬送人員	**513**	**554**	**625**	**720**	**762**	**686**	**765**	**828**	**817**	**797**
不搬送		42	41	48	63	57	53	71	46	40	55

昭和59年1月1日～平成5年12月31日

年別 / 事故別	活動内容	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5
火災	出動件数	1	4	1	1	3	0	3	0	1	5
	搬送人員	1	4	0	0	4	0	2	0	1	5
自然災害	出動件数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
水難	出動件数	5	1	4	4	0	7	5	4	2	5
	搬送人員	3	1	3	2	0	8	5	3	2	4
交通事故	出動件数	107	107	101	92	105	114	117	117	111	111
	搬送人員	131	133	108	100	129	143	145	159	160	146
労働災害	出動件数	24	5	22	13	12	10	9	15	10	11
	搬送人員	24	6	22	13	11	10	9	15	10	10
運動競技	出動件数	13	16	8	7	19	7	15	12	9	10
	搬送人員	13	16	10	7	20	7	14	12	9	11
一般負傷	出動件数	129	99	110	98	88	84	96	82	84	87
	搬送人員	125	95	104	91	83	79	86	78	81	82
加害	出動件数	11	6	6	7	8	3	5	3	2	5
	搬送人員	12	6	4	8	8	4	5	3	2	4
自損行為	出動件数	10	12	6	10	8	6	11	8	11	12
	搬送人員	8	9	5	7	5	5	8	8	9	10
急病	出動件数	398	380	335	359	372	367	374	373	377	395
	搬送人員	380	365	312	342	354	356	364	357	366	384
その他	出動件数	153	129	114	113	147	137	138	114	112	108
	搬送人員	142	121	104	108	140	138	134	110	110	107
計	**出動件数**	**852**	**759**	**708**	**704**	**762**	**735**	**773**	**728**	**719**	**749**
	搬送人員	**839**	**756**	**673**	**678**	**754**	**750**	**772**	**745**	**750**	**763**
不搬送		47	40	55	48	51	32	47	38	28	41

平成6年1月1日～平成15年12月31日

年別 / 事故別	活動内容	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
火災	出動件数	1	2	1	3	2	0	1	5	1	2
	搬送人員	1	4	0	2	1	0	1	4	3	1
自然災害	出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	出動件数	6	1	4	1	1	9	5	7	2	3
	搬送人員	3	1	3	0	0	6	4	4	2	2
交通事故	出動件数	92	96	116	96	109	103	107	120	114	81
	搬送人員	120	133	150	126	154	137	120	149	162	113
労働災害	出動件数	8	17	10	16	13	9	9	9	13	9
	搬送人員	8	17	10	16	14	9	8	9	13	9
運動競技	出動件数	10	12	5	4	9	3	3	7	6	7
	搬送人員	10	13	5	4	9	3	3	7	6	8
一般負傷	出動件数	106	88	94	78	102	96	114	134	118	127
	搬送人員	102	90	86	68	99	94	108	130	117	125
加害	出動件数	5	3	6	8	4	12	6	6	4	3
	搬送人員	5	2	5	9	3	12	5	5	3	4
自損行為	出動件数	11	8	7	20	10	14	19	10	15	20
	搬送人員	10	4	4	14	5	8	12	5	12	16
急病	出動件数	411	444	480	424	434	514	592	598	602	644
	搬送人員	408	429	449	409	411	491	567	574	588	625
その他	出動件数	93	109	48	28	18	33	27	43	32	36
	搬送人員	92	105	47	22	16	26	21	40	24	31
計	**出動件数**	**743**	**780**	**771**	**678**	**702**	**793**	**883**	**939**	**907**	**932**
	搬送人員	**759**	**798**	**759**	**670**	**712**	**786**	**849**	**927**	**930**	**934**
不搬送		28	37	58	47	42	56	58	55	38	36

平成16年1月1日～平成25年12月31日

年別 / 事故別	活動内容	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
火災	出動件数	0	1	3	3	1	1	1	2	3	1
	搬送人員	0	1	2	1	0	1	1	3	2	2
自然災害	出動件数	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	搬送人員	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0
水難	出動件数	1	3	5	1	3	1	1	0	2	2
	搬送人員	0	2	9	0	4	1	1	0	1	0
交通事故	出動件数	97	60	79	80	52	50	60	51	44	60
	搬送人員	132	74	102	114	74	58	74	76	53	66
労働災害	出動件数	7	18	13	11	12	11	14	5	11	15
	搬送人員	8	18	13	11	11	12	13	5	11	12
運動競技	出動件数	3	5	4	6	4	1	2	4	2	4
	搬送人員	3	5	5	6	4	1	2	4	2	4
一般負傷	出動件数	142	129	135	128	147	157	160	163	168	158
	搬送人員	139	125	132	124	144	152	160	162	165	153
加害	出動件数	7	3	5	5	2	1	3	0	2	3
	搬送人員	4	3	4	4	1	1	2	0	2	3
自損行為	出動件数	21	13	17	9	16	10	5	14	8	14
	搬送人員	18	11	12	8	9	5	4	7	8	9
急病	出動件数	620	690	755	754	687	671	667	692	666	652
	搬送人員	606	661	723	735	662	643	639	669	633	625
その他	出動件数	36	29	32	51	54	44	39	31	51	31
	搬送人員	31	26	28	42	47	37	35	30	50	22
計	**出動件数**	**936**	**951**	**1,048**	**1,048**	**978**	**947**	**952**	**962**	**958**	**940**
	搬送人員	**943**	**926**	**1,030**	**1,045**	**956**	**911**	**931**	**956**	**929**	**896**
不搬送		38	47	57	43	49	52	44	37	48	55

平成26年1月1日～令和5年12月31日

年別 / 事故別	活動内容	H26	H27	H28	H29	H30	H31 R元	R2	R3	R4	R5
火災	出動件数	0	2	4	1	6	1	1	0	0	2
	搬送人員	0	0	4	0	6	1	1	0	0	0
自然災害	出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	出動件数	8	2	1	3	4	4	3	3	6	9
	搬送人員	4	2	1	2	2	2	16	1	7	7
交通事故	出動件数	65	44	46	46	47	42	33	32	61	39
	搬送人員	78	50	54	60	58	50	40	33	66	43
労働災害	出動件数	11	9	5	12	12	10	12	6	6	8
	搬送人員	11	9	5	12	12	10	12	6	6	8
運動競技	出動件数	2	5	3	4	1	0	3	4	0	5
	搬送人員	2	5	3	4	1	0	3	4	0	5
一般負傷	出動件数	170	171	162	146	132	153	154	157	174	175
	搬送人員	165	169	155	144	126	150	149	155	171	171
加害	出動件数	3	1	2	1	1	0	1	0	0	1
	搬送人員	4	1	4	1	1	0	1	0	0	1
自損行為	出動件数	18	17	13	7	14	6	4	7	3	5
	搬送人員	14	12	8	3	9	5	3	5	3	2
急病	出動件数	680	701	707	729	732	682	652	693	763	828
	搬送人員	650	674	678	702	706	659	624	667	731	803
その他	出動件数	31	48	42	95	138	130	134	112	162	128
	搬送人員	27	34	38	88	124	122	124	96	142	107
計	**出動件数**	**988**	**1,000**	**985**	**1,044**	**1,087**	**1,028**	**997**	**1,014**	**1,175**	**1,201**
	搬送人員	**955**	**956**	**950**	**1,016**	**1,045**	**999**	**973**	**967**	**1,126**	**1,147**
不搬送		54	57	52	44	59	38	50	49	60	63

年 譜
消 防 の 沿 革

消 防 の 沿 革

年 号	留　　萌	小　　平	鬼　　鹿
明治15年	• 留萌外2ヵ所戸長役場当時、鳶職、亀本初太郎が、「私設火消し組」を創立して、留萌全村の消火業務に当たっていたのが、留萌における消防のはじまりである。		
明治17年			• 公立消防組創立、腕用ポンプ1台が配置されたのが鬼鹿消防のはじまりである。
明治29年	• 全村戸数260戸を基礎として「私設消防組」に改められ、器具として竜吐水2台、鳶2丁を備えた。		
明治30年	• 消防組令により公設留萌消防組に改められ、初代組頭に菅原直次郎が就任、組員37名。		
明治31年	• 第2代組頭に、久慈貞次郎　就任。		
明治32年	• 第3代組頭に、藤田隆造　就任。		
明治33年	• 第4代組頭に、五十嵐億太郎　就任。		
明治34年	• 第5代組頭に、佐藤喜代治　就任。	• 臼谷及び小平藁川尻に私設消防組創立、腕用ポンプ各1台配置、小平、臼谷の消防業務に当たったのが小平における消防のはじまりである。	
明治37年			• 鬼鹿村消防組第1部、第2部を設置、各部に腕用ポンプ各1台を配置する。
明治39年	• フランス式腕用ポンプ1台を配置する。		
明治41年	• 消防組を3部制に編成替えをし組員100名とする。		
明治44年	• 消防組を4部制に編成、組員135名に増加。（第1部本町、第2部川北、第3部臼谷、第4部礼受）		
大正 8年	• はじめて動力ポンプ、森田式手引きガソリンポンプを1台購入、第1部へ配置する。	• 留萌市大字三泊村のうち、小平藁、臼谷、鬼泊の三区域で2級町村制施行、村名を小平藁村とし同時に公設小平藁村消防組創設、臼谷を1部、川尻を2部に編成、組員36名編成となる。 • 初代組頭に、大櫛宇八　就任。	
大正 9年	• 消防組を5部制に編成替え。		
大正11年	• 第7代組頭に、山本仁次　就任。		
大正14年	• 第8代組頭に、山田吉松　就任。		
昭和 2年	• 第9代組頭に、山本仁次　就任。	• 森田式手引きガソリンポンプ各1台購入配置する。 • 第2代組頭に、渡部哲四郎就任。	
昭和 3年	• 上水道敷設により「特科部」を設け、消火栓専用部員8名を置く。		
昭和 4年	• 消防組を6部制に編成替え（第6部幌糠）、川北（現在の元町）に木造亜鉛葺2階建60坪の詰所を建設する。		
昭和 7年	• フォードポンプ自動車（1号車）を森田ポンプ		

年 号	留　　萌	小　　平	鬼　　鹿
	より購入、「特科部」に配置する。 • 港町3丁目に一部鉄筋木造2階建延40坪の本部を建設する。 • 礼受町第4分団機械器具置場25．5坪を建設する。		• フォードポンプ自動車1台を購入、第1部に配置する。
昭和 8年	• 留萌町消防組常備消防本部を設け、常備消防手8名を任命して特科部を廃止する。 • 開運町に消防詰所、木造2階建63坪を建設する。		
昭和10年	• 第10代組頭に、藤森樹治　就任。		
昭和11年	• フォードV8消防ポンプ自動車(2号車)を東京市原ポンプ製作所より5，900円で購入。		
昭和13年	• 第11代組頭に、佐藤静作　就任。		
昭和14年	警防団令が公布され、消防組が警防団に改組される。		
	• 「留萌町警防団」常備消防本部員13名、8ヶ分団、2消防部、編成定員412名となる。 • 初代警防団長に、堺太一　就任。	• 「小平藻村警防団」に改組。本郷、寧楽、達布に3分団を増設、各分団に腕用ポンプ1台配置する。 • 初代警防団帳に、渡部哲四郎就任、組員各30名。	• 「鬼鹿村警防団」に改組。 • 初代警防団長に、大友栄吉就任。
昭和15年	• 常備消防本部、1名増員(本部長)し定員14名となる。 • 三泊町第5分団機械器具置場24坪、大和田第6分団機械器具置場を建設する。	• 第2代警防団長に、太田照雄就任。	
昭和17年	• トヨタGB消防ポンプ自動車(3号車)を、東京報知機より購入する。		• 第2代警防団長に、藤田儀一就任。
昭和19年	• 消防本部常備員1名増員し、定員15名となる。		
昭和20年	• 消防本部常備員20名増員し、定員35名となる。 • 戦後の治安維持確保のため、業務を消防、警防に限定、定員410名となる。		
昭和21年	• 国内の治安が一応安定したので、定員を275名に減員される。		
昭和22年	消防団令が施行される。		
	• 「留萌町消防団」に改組。 • 初代消防団長に、堺太一　就任。 • 市制施行される。人口30，175人、戸数6，069戸。 • 第2代消防団長に、佐藤静作　就任。	• 「小平藻村消防団」に改組。 • 初代消防団長に、太田照雄就任。 • 達布8線、達布新生鉱社宅街2分団増設、各腕用ポンプ1台配置、達布8線に森田式手引きガソリンポンプ1台配置する。 • 第2代消防団長に、竹内甚悦就任。	• 「鬼鹿村消防団」に改編、6分団制となる。 • 初代消防団長に、藤田儀一就任。 • 鬼鹿消防器具置場新築。(公民館併用)
昭和23年	消防組織法の施行により、自治体消防として発足する。		
	• 消防本部、消防署、消防団及び消防訓練所が設置され、消防職員36名、消防団員の定員210名となる。 • 初代消防長に、佐藤静作(団長兼務)　就任。 • 初代消防署長に、岩崎利武　就任。	• 村名改称により、小平藻消防団から「小平村消防団」に改称する。	

年 号	留　　萌	小　　平	鬼　　鹿
	• 原田太八氏(当時市長、後に名誉市民)より日産消防ポンプ自動車(4号車)を寄贈される。 • 森田式2段バランスタービンガソリンポンプ2台を購入配置する。		
昭和24年	• 配炭公団解散により港頭貯炭が激増し、自然発火による石炭火災が発生する。 • 石炭火災消火協力の意味をもって同公団からいすず水槽付ポンプ自動車1台(5号車)とホース100本の寄贈を受ける。		
昭和25年	• 消防職員の定員が51名に改められる。 • いすず水槽付ポンプ自動車(6号車)を購入配置する。 • 消防本部・消防署の増改築を起工。		
昭和26年	• 消防本部・消防署の増改築完了。鉄骨7階建望楼(高さ20m)付、延103坪(既存64坪)、総工費275万円で5月31日竣工。 • 浜中町第8分団機械器具置場兼詰所建設(3坪)する。	• 第3分団、第5分団に小型動力ポンプ各1台を配置する。 • 第3代消防団長に、中原　厚　就任。	• 第2代消防団長に、成田和一郎　就任。
昭和27年	• 小型動力ポンプトーハツ横軸1段タービンを購入、小型動力ポンプ配置のはじまり。		• 消防機構の改革により、2分団に構成する。 • フォードポンプ自動車を廃車とする。 • 小型動力ポンプトーハツ10馬力1台を購入配置する。
昭和28年		• 第7分団を第5分団に合併し、6分団制となる。 • 小型動力ポンプを第4分団に2台、外の各分団に各1台を配置する。	
昭和29年	• 消防長兼消防団長　佐藤静作氏　逝去。 • 第2代消防長兼消防署長に、岩崎利武　就任。		• 第3代消防団長に、藤保伊勢次就任。
昭和30年	• 第3代消防団長に、金子長次　就任。 • 条例の改正により、消防職員の定員を44名に改める。 • 消防専用無線電話2基購入配置される。(消防無線のはじまり) • 日産キャリア全輪駆動式消防ポンプ自動車(7号車)1台を購入配置する。 • 南町に消防団第9分団が設置され、分団員8名とする。	• 第1分団にウイルスジープ全輪駆動式消防ポンプ自動車を購入配置する。	• 8月鬼鹿市街地より出火、49棟全焼、64世帯が罹災する。
昭和31年	• 明元町倉庫街で火災が発生し、全焼25棟、半焼2棟、この火災により政府保管米約2万俵、塩3万5千かます等、1億1千万円の損害を出す。		• 常備消防団員1名を配置。
		町村合併により、小平村小平消防団及び小平村鬼鹿消防団の2団編成となる。	
昭和32年			• 機構改革により、秀浦、千松、豊浜に消防団員5名配置、同部落に小型動力ポンプ各1台を設置、各部に腕用ポンプ各

年 号	留　　萌	小　　平	鬼　　鹿
			配置する。 • 1957年式「ウイルスジープ」型消防ポンプ自動車1台を購入、配置する。
昭和33年	• 峠下町に消防団第10分団が設置される。分団員6名。 • 元町大火。北船荘から出火した火災により、全焼181棟、罹災世帯252世帯1，235名という大火災となり、元町出張所も焼失する。	• 小平消防団庁舎新築される。 • 各分団を管轄地域名に改編する。 • 常備消防団員1名を配置。	• 1946年式トヨタ消防ポンプ自自動車を廃車する。 • 常備消防団員1名を配置。 • 第4代消防団長に、神田徳次郎　就任。
昭和34年	• 日産キャリア全輪駆動式消防ポンプ自動車（8号車）を購入配置する。 • 留萌市防火計画委員会、浜田稔博士（東大教授）外6名により留萌市の防火調査が実施され、計画報告書を発表する。 • 消防団第3分団機械器具置場兼機関員詰所、木造亜鉛葺平屋建11．75坪を建設する。		• 小型動力ポンプトーハツ28馬力1台を購入配置する。 • 防火水槽（48t）1基を三上富成宅前に新設する。 • 豊浜に消防器具置場、木造亜鉛葺平屋建5坪を建設する。
昭和35年		• 小平本団を新設、ウイルス型消防ポンプ自動車を小平分団より配置替えし、町全域を管轄する。 • 初代小平本団長に、松谷武就任、団員8名の編成となる。	
昭和36年	• 日本損害保険協会より、日産ジュニアーFRB型消防ポンプ自動車（第1保険号）1台の寄贈を受ける。 • 市総合庁舎（3，832．1㎡）竣工し、消防本部、消防署も新庁舎（543．9㎡）に移転する。 • 留萌消防最初のﾌｫｰﾄﾞ消防ポンプ自動車（1号車）が29年間活躍し廃車となる。	• 達布分団にトヨタ・ランドクルーザー型消防車を購入配置する。	• 第2分団に消防器具置場、木造亜鉛葺平屋建5坪を建設する。 • 小型動力ポンプトーハツ20馬力1台を購入配置する。
昭和37年	• 日産F680型消防ポンプ自動車を240万円で購入、名称を一般市民から募集し「若虎号」と命名する。 • 元町機関員詰所を9坪増築する。 • 消防団第7分団（幌糠）機械器具置場兼詰所、木造モルタル亜鉛葺2階建延70坪を建設する。 • 条例改正により消防職員の定員が45名となる。		• モーターサイレン3．5馬力を団本部に設置する。 • 千松に消防器具置場、木造亜鉛葺平屋建27．5坪を建設する。
昭和38年	• 消防団第10分団（峠下）器具置場、木造亜鉛平屋建6坪を建設する。	• 留萌信用金庫より、小型動力ポンプトーハツVM25馬力1台の寄贈を受ける。	• 防火水槽（40t）1基を港町2区浜通りに新設する。
昭和39年	• 留萌信用金庫より150万円の寄付を受け、いすず水槽付消防ポンプ自動車（信金号）を購入する。 • 国家消防庁、今津技官他により都市等級調査が実施され、11月6等級に決定する。 • 消防団第9分団（南町）機械器具置場兼詰所、木造モルタル亜鉛葺2階建延198㎡を建設する。		• 小型動力ポンプトーハツ25馬力1台を購入配置する。 • 防火水槽（40t）1基を港町3区吉田宅前に新設する。 • 消防団第1分団広富支部を設置、団員7名配置。
	• 日本赤十字社から救助車1台が市総務課所属として配置され、消防が委任を受け救急業務が		• 各支部の団員5名を7名に増員する。

年 号	留　　萌	小　　平	鬼　　鹿
	開始される。		
昭和40年	• 峠下町豊平地区に消防団第10分団豊平部を設け、分団員、市街地5名、豊平部5名となる。 • 消防団第3分団春日町器具置場4．95㎡を建設する。 • 消防団第8分団（浜中町）器具置場兼詰所、木造モルタル亜鉛葺平屋建延123．8㎡を建設する。 • 元消防団第2分団部長門脇吉四郎より160万円の寄付を受け、いすずTXG20型水槽付消防ポンプ自動車（門脇号）を346万円で購入する。		• 防火水槽（40t）1基を豊浜に新設する。
昭和41年	• 消防団第5分団塩見町器具置場19．8㎡を建設する。	町制が施行される。	
	• 藤山町に藤山分団が設置され分団員6名で編成。 • 消防団第5分団（三泊）に車庫兼詰所、木造モルタル亜鉛葺平屋建延123㎡を建設する。	• 小平本団にトヨタFQキャリヤー型消防ポンプ自動車を購入配置する。	• 鬼鹿消防器具置場を港町2区に建設する。 • 元浜、田代、港町1・2・3区及び広富地区に、地上式消火栓12基を新設する。
昭和42年	• 危険物、LPG普及に伴う事故多発に対する機動力として赤バイク（ヤマハYA－6型125cc）2台を購入、配置する。 • 大町黄金岬の石油基地進出に伴い、油火災に対応するため、いすずTXG－20型化学消防ポンプ自動車を購入配置する。	• 天塩炭鉱鉄道の炭鉱閉山により上達布分団が廃止された。	• 港町1区、3区、広富地区に、地上式消火栓3基を新設する。 • 広富地区に小型動力ポンプトーハツ25馬力1台を購入配置する。
昭和43年	• 京都大学教授堀内三郎工学博士により、留萌市の防火実態調査を実施する。	• 常備消防団員1名を増員。	• 常備消防団員1名を増員。
	• 昭和43年7月19日北海道告示第1478号により、市内錦町4丁目沢泉外科病院が救急医療機関に指定される。 • 消防団第9分団（南町）　車庫兼詰所、木造モルタル亜鉛葺2階建延162㎡を建設する。 • 消防法の改正により救急業務の実施都市に指定される。 • 藤山分団器具置場木造亜鉛葺平屋建19．8㎡を建設する。 • 礼受消防出張所木造モルタル亜鉛葺平屋建171．42㎡を建設する。	• 小平本団に小平町役場職員19名、非常勤消防団員として任命編成する。	• トヨタキャリアーFQ102型消防ポンプ自動車を270万円で購入配置する。
昭和44年	• 消防署長に、河田静三　就任。 • 留萌ライオンズクラブより110万円の寄付を受け、トヨタキャリアーFQ型A2級消防ポンプ自動車（ライオンズ号）を購入配置する。 • 日本損害保険協会より、いすずTXG－10型A1級水槽付消防ポンプ自動車（第2保険号）の寄贈を受け、元町出張所に配置する。 • 沖見町に消防団詰所、木造モルタル亜鉛葺2階建延264㎡を建設する。 • 消防団長の金子長次　逝去。 • 第4代消防団長に、道重雄　就任。 • 元町出張所車庫増設、木造モルタル亜鉛葺一部2階建となる。（既存部分93．58㎡・増築		• 小型動力ポンプシバウラF74S型25馬力を豊浜器具置場に配置する。 • 団本部に設置されているモーターサイレン3．5馬力を25馬力に取替設置する。 • 防火水槽（30t）1基を駅前に新設する。

年 号	留　　萌	小　　平	鬼　　鹿
	部分57．96㎡） • 66年式小型トラックニッサンクリッパー1台購入、特殊作業用器具積載車（工作車）に改造し配置する。 • 北海道消火栓標識総合センター留萌営業所により、市内に設置の消火栓110基に標識が設けられる。 • 港町3丁目旧消防庁舎望楼、老朽のため解体撤去する。（撤去面積36．04㎡）		
昭和45年	• 豊平炭鉱閉山により、消防団第10分団（峠下）豊平部が廃止される。 • 消防団第7分団（幌糠）器具置場、木造モルタル亜鉛葺9．9㎡（3坪）及び樽真布器具置場、木造モルタル亜鉛葺平屋建19．8㎡（6坪）を建設する。 • 消防団第6分団（大和田）分団詰所、木造モルタル亜鉛葺2階建延90．72㎡を建設する。 • 小型動力ポンプ（シバウラB－3級）付積載車マツダDUP型を購入、元町出張所に配置する。（積載車導入のはじまりである） • 消防団第3分団（元町・春日町）春日町消防詰所、木造モルタル亜鉛葺2階建延182．12㎡を建設する。		• 鬼鹿消防団器具置場、オンネイ川拡幅工事のため移転する。
昭和46年	• 沖見町地区住宅団地の拡大により、消防団沖見分団が設置され、分団員10名で編成。 • 日本生命保険協会の補助を受け、2B型救急車（生保号）トヨタFS55V型を本署に配置する。。	• 小平本団に、いすずTS40全輪駆動型水槽付消防ポンプ自動車を1台購入配置する。 • ウイルスジープ型消防自動車を廃車とする。	• 秀浦、千松に小型動力ポンプラビット型35馬力を各1台配置する。 • 千松、豊浜に望楼を新設する。
昭和47年	• 消防長の、岩崎利武　勇退。 • 第3代消防長に、市助役の鷹橋三郎　就任、消防長事務取扱となる。 • 指令広報車としてトヨペットコロナRT78V型を購入、本署に配置する。 • 日赤から昭和39年に配置された日赤救助車が、老朽のため廃車とする。 • 日本赤十字社の補助を受け、新救助車トヨタMS66V型を本署に配置する。 • 防火水槽Ⅱ型40t級3基を補助事業により堀川町、栄町、幌糠町内に新設する。	• トヨタランドクルーザー型消防自動車を廃車とする。 • 1972年式ニッサンFh60型消防自動車を購入配置する。 • 防火水槽（40t）1基を補助事業により寧楽地区に新設する。	• 1972年式いすずTX20型水槽付消防ポンプ自動車を購入配置する。
昭和48年	• 第4代消防長に、消防本部次長の北村茂就任。 • 消防本部次長に、金澤勝男　就任。 • 消防通信施設に一斉指令装置を新設し、通信連絡網を強化する。 • 防火水槽Ⅱ型40t級2基を補助事業により明元町、三泊町に新設する。	• 株式会社堀口組社長　堀口久雄氏より、広報指令車としてトヨタクラウンバン型の寄贈を受ける。（担架を積載し救急車を兼ねる。） • 防火水槽（40t）1基を補助事業により旭町地区に新設する。	